

**平成 29 年度
坂井市教育委員会の事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書**

坂井市教育委員会

— 目 次 —

I	はじめに	1
II	点検・評価について	2
III	平成29年度坂井市教育委員会の活動状況	
1	教育委員会の会議開催等の状況	3
2	教育委員の活動状況	6
3	委員会、審議会等の審議状況	12
4	教育委員会関係の許認可の状況	14
IV	教育委員会関係事業の取組実績	
	平成29年度事業別施策の成果報告書	
	○ 教育総務課	16
	○ 学校教育課	19
	○ 生涯学習スポーツ課	32
	○ 国体推進課	43
	○ 文化課	44
	○ 市立図書館	52
V	有識者からの意見	54

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「平成29年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が平成29年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

II 点検・評価について

1 対象期間

平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）

2 点検・評価方法

(1) 点検・評価報告書の作成

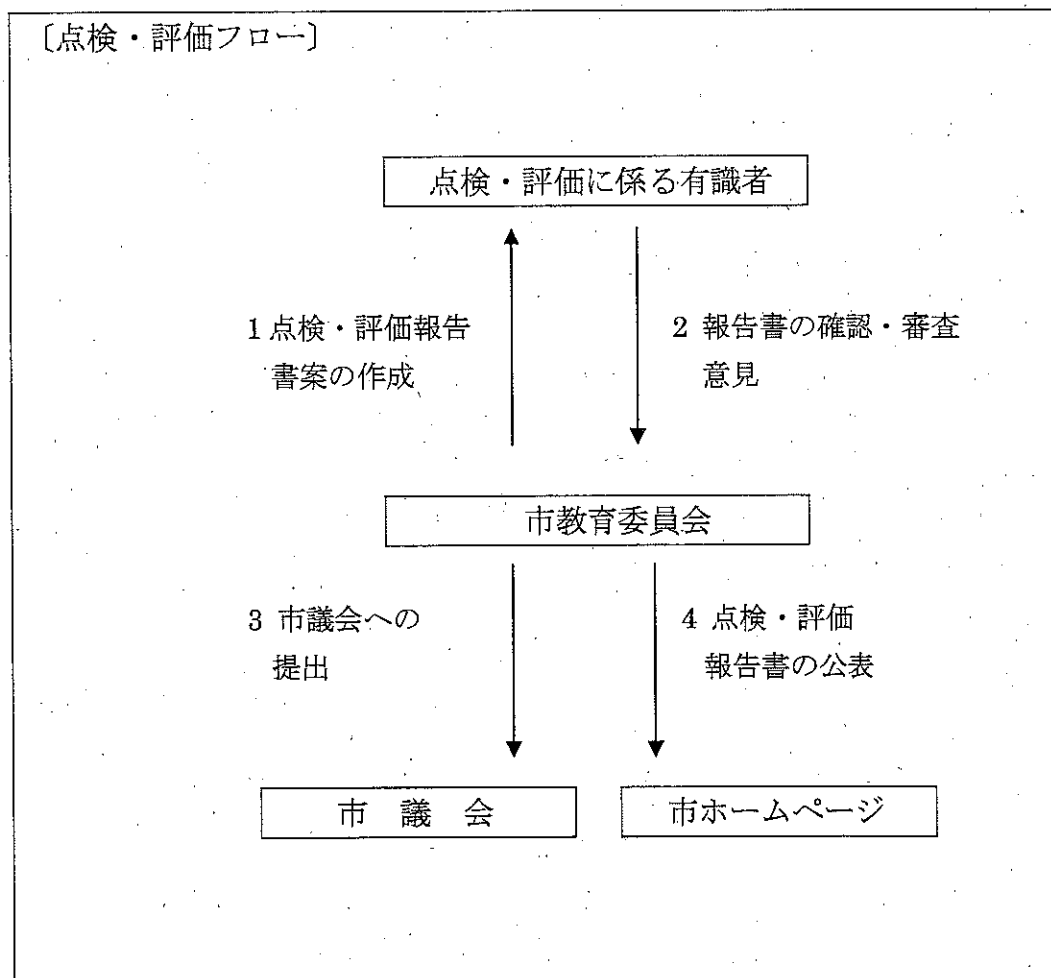
- ・ 教育委員会において点検・評価報告書案を作成

(2) 点検・評価報告書の確認、審査

- ・ 有識者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

(3) 点検・評価結果の公表

- ・ 点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表



Ⅲ 平成29年度 坂井市教育委員会の活動状況

1 教育委員会の会議開催等の状況

(1) 坂井市教育委員会委員

(平成28年5月11日現在)

	氏名	職業
委員長	三宅 小百合	無職（保護者委員）
委員（委員長職務代理者）	若松 静榮	茶道教授
委員	牧田 靖夫	会社役員
委員	田中 典夫	無職
委員（教育長）	川元 利夫	

(平成29年5月11日現在)

	氏名	職業
委員長	牧田 靖夫	会社役員
委員（委員長職務代理者）	田中 典夫	無職
委員	三宅 小百合	無職（保護者委員）
委員	若松 静榮	茶道教授
委員（教育長）	川元 利夫	

※三宅委員は平成30年1月4日付けで辞任

(平成30年3月12日現在)

	氏名	職業
委員長	牧田 靖夫	会社役員
委員（委員長職務代理者）	田中 典夫	団体役員
委員	若松 静榮	茶道教授
委員	宮崎 美恵子	医療法人理事（保護者委員）
委員（教育長）	川元 利夫	

※三宅委員の後任として平成30年3月12日付で宮崎委員が就任

(2) 教育委員会の開催状況

- ・ 開催回数 15回
- ・ 附議事項 35件

(3) 教育委員会審議案件

- 4月定例教育委員会〔平成29年4月19日（水）〕
 - 坂井市学校事務共同実施組織責任者の指定について
 - 坂井市文化財保護審議会に諮問することの協議について
 - 坂井市立図書館協議会委員の承認について

- 5月臨時教育委員会〔平成29年5月11日（木）〕
 - 坂井市教育委員会委員長の選出について
 - 坂井市教育委員会委員長職務代理者の選出について
 - 坂井市教育委員会教育委員の席次の決定について

- 5月定例教育委員会〔平成29年5月11日（木）〕
 - 小学校道徳教科書の採択における採択地区協議会設置および採択地区協議会の協議結果に基づき採択することに関する議決について
 - 丸岡城調査研究委員会委員の選任について
 - 就学指定校の変更許可について

- 6月定例教育委員会〔平成29年6月26日（月）〕
 - 坂井市中学校文化・スポーツ大会出場激励金交付要綱の一部改正について
 - 坂井市教育委員会文化課所管補助金等交付要綱の一部改正について
 - 就学指定校の変更許可について

- 7月定例教育委員会〔平成29年7月19日（水）〕
 - 坂井市みくに市民センター条例施行規則の制定について

- 8月定例教育委員会〔平成29年8月24日（木）〕
 - 坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について
 - 就学指定校の変更許可について

- 9月定例教育委員会〔平成29年9月28日（木）〕
 - 就学指定校の変更許可について

- 10月定例教育委員会〔平成29年10月24日（火）〕
 - 就学指定校の変更許可について

- 11月定例教育委員会〔平成29年11月22日（水）〕
 - 就学指定校の変更許可について

- 12月定例教育委員会〔平成29年12月19日（火）〕
 - 文化財の新規指定について
 - 就学指定校の変更許可について

- 1月臨時教育委員会〔平成30年1月4日（木）〕
 - 坂井市教育委員会委員辞職の同意を求める件について

- 1月定例教育委員会〔平成30年1月17日（水）〕
 - 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について

- 2月定例教育委員会〔平成30年2月22日（木）〕
 - 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について（追加分）
 - 就学指定校の変更許可について

- 3月臨時教育委員会〔平成30年3月12日（月）〕
 - 坂井市教育委員会教育委員の席次の決定について

- 3月定例教育委員会〔平成30年3月12日（月）〕
 - 坂井市教育委員会教育総務課所管補助金等交付要綱の一部改正について
 - 坂井市立小学校及び中学校の管理規則の一部改正について
 - 坂井市教育委員会学校教育課所管補助金等交付要綱の一部改正について
 - 坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱の一部改正について
 - 坂井市全国スポーツ大会激励金支給要綱の改正について
 - 坂井市スポーツ推進委員の承認について
 - 坂井市教育委員会文化課所管補助金等交付要綱の一部改正について
 - 坂井市文化財保護審議会委員の承認について
 - 坂井市文化未来会議委員の承認について
 - 就学指定校の変更許可について

2 教育委員の活動状況

	時 期	出席委員名	活 動 内 容
1	平成29年4月1日	川元	坂井地区学校運営研究大会
2	4月2日	川元	アーモンドお花見フェスタ
3	4月3日	川元	教育委員会辞令交付式
4	4月4日	三宅、若松、牧田、田中、川元	教職員着任式
5	4月6日	三宅、若松、牧田、田中、川元	各中学校入学式
6	4月10日	三宅、若松、牧田、田中、川元	坂井市教育研究会総会
7	4月15日	三宅、川元	福井県教育総合研究所開所式、記念講演
8	4月18日	川元	福井県都市教育長協議会総会・意見交換会
9	4月19日	三宅、若松、牧田、田中、川元	第1回総合教育会議
10	4月20日～21日	川元	東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会
11	4月23日	三宅、若松、牧田、田中、川元	第24回一筆啓上顕彰式
12	4月26日～27日	川元	北陸ブロックB&G海洋センター連絡協議会総会
13	4月29日	牧田、川元	坂井市スポーツ少年団入団式
14	5月3日	川元	古城カップサッカー大会
15	5月9日	川元	坂井市中高連絡協議会総会
16	5月10日	三宅、若松、牧田、田中、川元	英国派遣団報告会、解団式
17	5月11日	三宅、川元	教育委員辞令交付式（三宅委員）
18	5月13日	川元	坂井市成人大学開講式
19		牧田、田中、若松、川元	坂井市PTA連合会総会
20	5月17日	三宅、川元	坂井市総合美術展開場セレモニー
21	5月18日～19日	川元	全国都市教育長協議会総会・研究大会
22	5月19日	牧田、田中、三宅、若松、川元	第1回坂井地区合同教育委員会
23	5月20日	牧田、田中、三宅、川元	小学校運動会（平章、高棟・春江・春西・大石）
24	5月21日	田中、川元	鳴鹿地区体育祭
25	5月22日	牧田	青少年育成坂井市民会議総会
26	5月24日	牧田、田中、三宅、若松、川元	福井県市町教育委員会連絡協議会総会・研修会
27	5月26日	三宅、若松	福井県市町女性教育委員の会総会、研修会
28	5月27日	牧田、田中、若松、川元	小学校運動会（明章、東十郷、大関、兵庫、木部）
29	6月1日	牧田、田中、三宅、若松、川元	探択坂井地区協議会
30	6月4日	牧田、田中、川元	第12回坂井市古城マラソン
31	6月7日	牧田、田中、三宅、若松、川元	春江東小学校創立10周年記念式典
32	6月9日	牧田、田中、三宅、川元	福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会常任委員会、総会
33	6月11日	川元	花咲ふくい杯少年少女剣道坂井大会
34	6月14日	牧田、三宅、若松、川元	坂井市小学校音楽会
35	6月22日	田中、三宅、川元	坂井地区中学校音楽会
36	6月28日	川元	福井県中学校教育研究会坂井ブロック研究集会
37	6月29日	若松、川元	英国招へい団坂井市到着
38	6月30日	牧田、田中、三宅、若松、川元	英国招へい団市長表敬訪問
39	7月1日	川元	ロータリークラブ学童軟式野球大会
40		川元	坂井市身体障害者スポーツ大会
41		牧田、川元	第6回坂井市子ども文化祭
42		牧田、三宅	第12回坂井市民スポーツ祭総合開会式
43	7月3日	牧田、川元	英国招へい団 三国中訪問
44	7月5日	田中、三宅、若松、川元	英国招へい団 坂井市出発（見送り）
45	7月10日	川元	第1回市民文化祭実行委員会
46	7月13日	川元	福井県公民館セミナー開講式
47	7月19日	川元	坂井市立図書館協議会

2 教育委員の活動状況

	時 期	出席委員名	活 動 内 容
48	7月21日	川元	坂井地区小学校教育課程研究集会
49	7月24日	牧田、田中、三宅、若松、川元	採択坂井地区協議会
50	7月31日	牧田、田中、三宅、若松、川元	女性活躍推進イベント
51	8月1日	川元	坂井市教育研究会全体研修会
52	8月5日	田中、川元	白山1300年シンポジウム
53	8月6日	川元	県民スポーツ祭 バウンドテニス
54		若松、川元	さかい夏祭り
55	8月19日	田中	くちなし忌
56	8/21～23日	川元	坂井・延岡ジュニア交流事業
57	8月22日	川元	福井県都市教育長協議会臨時総会
58	8月23日	川元	第2回教育振興研究会代表者会
59	8月26日	三宅、川元	わく・ワク・WORKおしごとってなに？
60	9月2日	牧田、田中、三宅、川元	帯のまち流し
61	9月7日	牧田、田中、三宅、若松、川元	市内中学校体育祭
62	9月9日	牧田、田中、三宅、若松、川元	小学校運動会（雄島、磯部、三国北、加戸、三国西、長畝）
63	9月12日	川元	坂井市子ども会育成連絡協議会壁新聞コンクール審査
64	9月13日	牧田、川元	坂井地区中学校駅伝競走大会
65	9月16日	牧田、三宅、川元	小学校運動会（三国南、春江東）
66		川元	表児の米
67	9月18日	三宅、若松、川元	ありがとう未来館ラストコンサート
68	9月23日	牧田、三宅、若松、川元	こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展表彰式
69		田中、若松、川元	中野すゞ子没後60年のつどい
70	9月24日	川元	福井県子ども会育成連合会創立50周年記念式典
71	9月28日	牧田、田中、三宅、若松、川元	坂井市PR 図画作品最終選考会
72	10月1日	川元	三国町民体育祭
73		川元	さかい九頭竜音楽祭表彰式
74		川元	春江東部ふるさとまつり
75	10月11日	川元	福井県市町教育長研修会
76		牧田	福井県明るい選挙推進協議会委員会
77	10月12日～13日	牧田	東海北陸六県市町村教育委員会連合会理事会
78	10月15日	川元	福井県シニアママさんバレーボール大会
79		川元	南部地区子どものつどい
80	10月19日～20日	牧田	全国市町村教育委員会連合会第3回常任理事・理事会
81		三宅	文化芸術本公演（邦楽）
82	10月22日	川元	福井県エスキーツーテニス選手権秋季大会
83	10月24日	牧田、田中、三宅、若松、川元	第1回坂井・あわら市合同小学校陸上記録会
84	11月1日	三宅、若松	福井県市町女性教育委員の会 第2回研修会
85	11月2日	川元	福井教育フォーラム（三国北小他）
86	11月3日	牧田、田中、三宅、若松、川元	みくに市民センター開館記念式典
87		牧田、田中、三宅、若松、川元	坂井市民文化祭開会式典
88	11月4日	三宅、若松	坂井市民文化祭（三国・春江・坂井）
89	11月7日～9日	川元	平成29年度市町村教育委員会研究協議会
90	11月10日	若松	文化芸術本公演（吹奏楽：坂井中）
91	11月12日	牧田、川元	全国小中学校競技かるた選手権
92		若松	みくに未来ホール開館記念コンサート
93	11月14日	牧田、三宅、若松、川元	英国派遣団結団式
94	11月17日	牧田、川元	丸岡南中自主研究発表会

2 教育委員の活動状況

	時 期	出席委員名	活 動 内 容
95	11月18日	牧田、川元	青少年健全育成福井県民大会
96	11月22日	牧田、田中、三宅、若松、川元	第2回坂井地区合同教育委員会
97	11月25日	牧田、田中、川元	まるおか子供歌舞伎
98		牧田、三宅、若松、川元	坂井市PTA連合会市長・教育委員と語る会
99	11月26日	川元	外国人による日本語弁論大会
100	12月3日	牧田、若松、川元	福井しあわせ元気国体300日前イベント生涯学習講演会
101	12月5日、7日	牧田、三宅、若松、川元	ふくい文化子どもスクール オーケストラと子どもたちのふれあいコンサート
102	12月9日	川元	坂井地区子ども会ディスクドッジ大会
103	12月10日	牧田、田中、川元	坂井市青少年健全育成推進大会
104	12月17日	三宅、川元	子どもミュージカル
105	12月19日	三宅、川元	高校生現代アートビエンナーレ実行委員会
106	平成30年1月5日	川元	坂井地区教育振興研究会代表者会
107	1月7日	牧田、田中、川元	坂井市成人式
108	1月14日	川元	坂井市小学生親善かるた大会
109	1月20日	牧田	体育協会新春のつどい
110	1月26日	牧田、田中、若松、川元	一筆啓上入賞者発表会
111	1月27日	川元	男女共同参画ネットワーク新春のつどい
112	1月29日	川元	福井県文化協会新春の集い
113	2月17日	川元	坂井市成人大学閉講式
114	2月25日	牧田、川元	坂井市民競技かるた大会
115	3月1日	若松	坂井高等学校卒業証書授与式
116		田中	丸岡高等学校卒業証書授与式
117		牧田	三国高等学校卒業証書授与式
118	3月2日	田中	丸岡高等学校定時制卒業証書授与式
119	3月4日	川元	坂井市民将棋大会
120	3月6日	牧田、川元	イクボスセミナー
121	3月8日	牧田、田中、川元	英国派遣事業壮行式
122	3月11日	川元	新入学を祝うよい子のつどい
123		川元	木部春のふれあいまつり
124		川元	大関コミセンやよい祭
125	3月12日	川元、宮崎	教育委員辞令交付（宮崎委員）
126	3月13日	牧田、若松、宮崎、川元	各中学校卒業証書授与式
127	3月15日	牧田、若松、宮崎、川元	各小学校卒業証書授与式
128	3月16日	牧田、若松、宮崎、川元	各小学校卒業証書授与式
129	3月17日	牧田、若松、宮崎、川元	坂井市教育委員会表彰
130		田中、川元	英国派遣事業 帰国報告
131	3月23日	田中、川元	英国派遣団帰国市長報告
132	3月30日	牧田、田中、若松、宮崎、川元	教職員離任式

※教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。

※指導主事訪問および全国大会等出場激励会は、別途一覧表があるため、本表からは除いてあります。

全国大会等出場激励会

	開催日	内 容
1	平成29年6月14日	全国大会出場激励会（高校ソフトテニス）
2	6月27日	全国大会出場激励会（一般女子ソフトボール）
3	7月10日	全国大会出場激励会（小学生ソフトテニス、小学生バドミントン）
4	7月12日	全国大会出場激励会（自治体職員サッカー） 文化芸術全国大会出場激励会（高等学校総合文化祭、高校放送コンテスト）
5	7月18日	インターハイ激励会
6	7月20日	国際交流行事出場激励（高校生和太鼓）
7	7月26日	全国大会出場激励会（中学生少林寺拳法、小学生ハンドボール、小学生卓球、小学生バレーボール）
8	7月28日	全国高等学校定時制通信制体育大会出場激励会
9	7月31日	全国大会出場激励会（空手、小学生フットサル、小学生陸上、ジュニアテニス） 全国高等学校野球選手権大会（坂井高等学校）
10	8月10日	全国大会出場激励会（中学柔道、パラ水泳、ソフトテニス、ソフトボール）
11	8月15日	全国大会出場激励会（中学サッカー、中学バレーボール）
12	8月18日	全国大会出場激励会（中学女子軟式野球）
13	9月7日	第72国民体育大会（会期前）（高校水泳）
14	9月11日	全国大会出場激励会（一般男子バウンドテニス、中学バドミントン）
15	9月25日	第72回国民体育大会出場激励会
16	10月3日	全国高等学校ロボットコンテスト出場激励会
17	10月16日	全国大会出場激励会（バレーボール）
18	10月20日	全国大会出場激励会（中学陸上）
19	10月27日	全国大会出場激励会（シニアサッカー、女子フットサル）
20	11月13日	新体操国際大会、全日本チアダンス選手権大会出場激励会
21	11月20日	全国大会出場激励会（卓球バレー）
22	11月28日	全国大会出場激励会（小学生バドミントン、小学生バトントワーリング）
23	12月6日	全国大会出場激励会（高校マーチングバンド）
24	12月21日	全国大会出場激励会（高校バレー、高校サッカー）

全国大会等出場激励会

	開催日	内 容
25	平成30年1月11日	全国大会出場激励会（中学男子駅伝）
26	2月20日	全国大会出場激励会（女子フットサル）
27	2月22日	全国大会出場激励会（女子バレーボール、パラ水泳）
28	3月5日	バレエ国際大会出場激励会（中学生）
29	3月6日	全国大会出場激励会（高校チアダンス）
30	3月13日	全国大会出場激励会（女子ソフトボール、中学ソフトテニス、中学女子ソフトボール、野球）
31	3月16日	全国大会出場激励会（中学バドミントン、小学生ハンドボール、小学生ソフトテニス）
32	3月19日	全国大会出場激励会（高校新体操、高校自転車競技、高校ウェイトリフティング）
33	3月22日	全国大会出場激励会（中学卓球・中学バスケ・小学生ソフトテニス、小中競技かるた）
34	3月26日	全国大会出場激励会（小学生水泳）

指導主事学校訪問

	時 期	出席委員名	活 動 内 容
1	平成29年5月18日	牧田、三宅、若松	指導主事学校訪問（三国南小）
2	5月23日	牧田、田中、三宅、川元	指導主事学校訪問（磯部小）
3	5月26日	牧田、田中、川元	指導主事学校訪問（春江中）
4	5月30日	牧田、田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（丸岡中）
5	6月2日	牧田、田中、三宅、川元	指導主事学校訪問（鳴鹿小）
6	6月7日	川元	指導主事学校訪問（高椋小）
7	6月9日	牧田、田中、三宅、川元	指導主事学校訪問（三国西小）
8	6月15日	牧田、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（坂井中）
9	6月16日	牧田、若松、川元	指導主事学校訪問（春江小）
10	6月20日	三宅、若松	指導主事学校訪問（三国中）
11	6月21日	牧田、田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（丸岡南中）
12	6月23日	牧田、田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（木部小）
13	6月27日	牧田、田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（東十郷小）
14	6月30日	田中、三宅、川元	指導主事学校訪問（平章小）
15	10月5日	牧田、田中、三宅、若松	指導主事学校訪問（長畝小）
16	10月11日	牧田、田中、三宅、若松	指導主事学校訪問（春江東小）
17	10月12日	田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（三国中2回目）
18	10月13日	田中、若松、川元	指導主事学校訪問（坂井中2回目）
19	10月17日	牧田、田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（大石小）
20	10月18日	牧田、田中、三宅、川元	指導主事学校訪問（春江中2回目）
21	10月19日	田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（兵庫小）
22	10月31日	田中、三宅、川元	指導主事学校訪問（丸岡中2回目）
23	11月2日	牧田、三宅、川元	指導主事学校訪問（三国北小）
24	11月7日	牧田、田中、若松、川元	指導主事学校訪問（明章小）
25	11月8日	田中	指導主事学校訪問（雄島小）
26	11月10日	田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（春江小）
27	11月15日	牧田、田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（春江西小）
28	11月16日	牧田、田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（磯部小）
29	11月21日	牧田、田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（高椋小）
30	11月27日	川元	指導主事学校訪問（丸岡南中2回目）
31	11月29日	牧田、田中、三宅、若松、川元	指導主事学校訪問（大関小）

3 委員会、審議会等の審議状況

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
坂井市社会教育委員の会	15(4)	3	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度社会教育関係事業の概要について 合宿通学事業・子ども会育成事業について 国際交流事業について 	協議	H29.6.6 H30.1.31 H30.3.27
坂井市図書館協議会	11(7)	2	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の概要について 平成28年度事業報告について 平成28年度決算報告について 平成29年度事業計画について 平成29年度坂井市立図書館利用状況、各館の行事報告 平成30年度主要事業および予算の概要について 	協議	H29.7.19 H30.2.23
坂井市スポーツ推進委員会	44(14)	15	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業計画について スポーツ推進委員会及び各部会の運営について 北陸地区スポーツ推進委員研修会について ウォークラリー大会について スポレッシュ教室について マリン体操普及推進について ケーブルテレビによるスポーツ推進委員活動紹介について 平成29年度事業活動について 平成29年度事業計画について 	協議	H29.4.13 H29.4.18 H29.5.17 H29.6.15 H29.8.8 H29.8.23 H29.8.29 H29.10.10 H29.10.19 H29.11.14 H29.12.6 H29.12.13 H29.12.19 H30.2.22 H30.3.8
坂井市教育支援委員会	36(29)	6	<ul style="list-style-type: none"> 教育支援委員会 園児児童生徒の就学先を個別に判断・決定に関すること 教育支援委員専門委員会 専門家を招いて園児児童生徒の就学相談に関すること 	協議	H29.4.20 H29.6.1 H29.7.6 H29.8.3 H29.11.30 H30.1.18
坂井市青少年愛護センター運営委員会	20(5)	2	<ul style="list-style-type: none"> 愛護センターの事業報告 愛護センターの事業計画 青少年の動向 補導活動、相談業務 	協議	H29.6.28 H30.3.6
坂井市文化財保護審議会	9(0)	3	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業計画について 文化財看板の改修について 文化財の新規指定について 文化財冊子の改訂について 平成29年度事業報告 調査に伴う現地視察(新保春日神社石祠・鳥居) 	会議 視察 会議 会議	H29.6.14 H29.7.20 H29.11.13 H30.2.22

3 委員会、審議会等の審議状況

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
坂井市文化未来会議	12(4)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の会議の方向性について ・今年度の視察研修について ・先進地視察研修(富山県八尾町～南砺市) ・文化教育普及活動実績および来年度の方向性について 	会議 会議 視察 会議	H29.5.25 H29.8.21 H29.9.3～4 H30.2.1
坂井市一筆啓上日本一 短い手紙の館運営審議会	6(1)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業計画について ・手紙の館の運営状況報告 ・平成29年度事業報告 	会議 会議 会議	H29.7.27 H29.11.16 H30.3.13
丸岡城調査研究委員会	11(1)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業計画について ・平成30年度事業計画について ・構造部会の検討結果について ・調査報告書の執筆計画について ・丸岡城天守の構造に関する資料について ・丸岡城天守の構造的特徴について ・調査事業に進捗状況について ・平成30年度調査研究事業の計画について ・『丸岡城天守学術調査報告書』の執筆計画について ・平成29年度調査研究事業の成果報告 	会議 会議 会議 会議	H29.6.8 H29.11.27 H29.12.20 H30.3.14
みくに龍翔館リニューア ル検討委員会	9(1)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・みくに龍翔館リニューアル基本計画案について ・施設改修計画および展示改修計画について 	会議 会議 会議	H29.11.6 H30.1.15 H30.3.22
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 総会	140(10)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告について ・平成28年度収支決算について ・平成29年度事業計画(案)について ・平成29年度収支予算(案)について 	協議	H29.6.9
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 常任委員会	41(1)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・坂井市プレ大会開催基本計画(案)について ・坂井市消防・防災・警備基本計画(案)について 	協議	H29.6.9
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 宿泊衛生専門委員会	15(3)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・坂井市医療救護対策要領(案)について ・坂井市感染症(防疫)対策要領(案)について ・坂井市食品衛生対策要領(案)について ・坂井市弁当調達要項(案)について ・坂井市弁当調整施設選考委員会設置要綱(案)について ・坂井市弁当調整施設選考基準(案)について ・坂井市環境衛生対策要領(案)について 	協議	H30.3.5

※委員数のうち()内は女性の委員数

4 教育委員会関係の許認可の状況

(1) 文化財の指定状況

<指定文化財の現状>

平成30年3月31日現在

区 分	国			県指定	市指定	計
	指定	選定・選択	登録			
国 宝	1					1
重要文化財	9					9
有形文化財				18 (-1)	36 (+2)	54 (+1)
無形文化財						0
重要有形民俗文化財						0
有形民俗文化財					1	1
重要無形民俗文化財						0
無形民俗文化財				6	6	12
特別史跡						0
史 跡	2			3	12	17
特別名勝						0
名 勝	1					1
特別天然記念物						0
天然記念物	1			3	6	10
特別名勝天然記念物						0
名勝天然記念物	1					1
重要伝統的建造物群 保 存地区						0
選定保存技術						0
登録有形文化財			10		3	13
登録記念物			1		3	4
合 計	15	0	11	30 (-1)	67 (+2)	123 (+1)

※ () 内は年度内増減数

平成29年度追加 (3件)

○有形文化財(国指定追加 建造物 1件)

①瀧谷寺本堂・観音堂・方丈及び庫裏・開山堂・山門・鎮守堂 平成29年7月31日追加指定
(ただし、国指定は追加指定のため件数は増としない)

○有形文化財(市指定 建造物 2件)

②新保春日神社境内社巖島神社石祠附銅像三面八臂弁財天坐像 平成29年12月19日指定

③新保春日神社鳥居 平成29年12月19日指定

平成29年度解除 (1件)

○有形文化財(県指定 建造物 1件)

①石造瀧谷寺開山堂 平成29年7月31日解除(上位指定追加に伴う)

IV 教育委員会関係事業の取組実績

平成29年度事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会

予算款	10 教育費	項 01 教育総務費	目 01 教育委員会費	決算書
大事業	001	教育委員会運営事業		P. 191
中事業	01	教育委員会運営事業		所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初	決算額	不用額	
前年度	2,940 千円	2,699 千円	241 千円	
主たる 特定 財源	3,137 千円	3,019 千円	118 千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円
【事業の目的】 生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など、幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進し、創造的で人間性豊かな人材の育成を図る。また、学校教育、社会教育・体育及び芸術分野で優秀な成績を収め、活躍した人などに対し表彰し、一層の振興を図る。				
【事業の概要】 ◆教育委員会運営事業 2,581 千円 ○報酬(教育委員長1名、教育委員3名) 2,413 千円 ○旅費(費用弁償) 7 千円 ○需用費(印刷製本費他) 69 千円 ○使用料(有料道路通行料) 10 千円 ○負担金 82 千円 会議・研修参加負担金 10 千円 京都市町教育委員会連絡協議会負担金 52 千円 京都市町教育委員会連絡協議会総会負担金 20 千円 教育委員会の開催数 15 回 (うち、本庁舎以外での開催数) (3回)				
◆教育委員会表彰事業 118 千円 ○報償費(記念品等) 99 千円 ○需用費(消耗品費) 10 千円 ○委託料(写真撮影業務委託料) 9 千円 市教育委員会表彰内訳 功労賞 21名 計21件 功績賞 19名・2団体 計21件 奨励賞 10名・1団体 計11件				
【事業の成果と改善点等】 月1回の定例会および臨時会合わせて教育委員会を15回、総合教育会議を2回開催し、教育行政について協議を行った。				

予算款	10 教育費	項 01 教育総務費	目 02 事務局費	決算書
大事業	051	教育委員会事務局事業		P. 193
中事業	01	教育委員会事務局事業		所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初	補5号 決算額	不用額	
前年度	9,823 千円	8,368 千円	1,455 千円	
主たる 特定 財源	11,261 千円 指定寄附金 奨学金英資金貸付金収入	9,602 千円	1,659 千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円
【事業の目的】 教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。また、教育施設の適切なエネルギー管理に取り組み、省エネルギー対策を推進する。				
【事業の概要】 ◆教育委員会事務局事業 7,935 千円 ○旅費(教育長・職員出張旅費) 97 千円 ○交際費(教育長交際費) 326 千円 ○需用費(消耗品・書籍他) 172 千円 ○委託料 891 千円 ストレスチェック委託料 166 千円 中高連絡協議会事業委託料 725 千円 ○使用料及び賃借料(車両借上料他) 203 千円 ○負担金、補助及び交付金 5,446 千円 負担金(坂井地区教育振興会負担金他) 3,346 千円 補助金(小中学校教育振興費奨励金他) 2,100 千円 ○貸付金(奨学金英資金貸付者 4人) 800 千円				
◆省エネ対策事業 433 千円 ○旅費(講習会等参加旅費) 22 千円 ○委託料(省エネコンサル委託料) 394 千円 ○負担金(講習会受講料) 17 千円				
【事業の成果と改善点等】 教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組んだ。また、ストレスチェックを実施し、職員メンタルヘルスの維持向上を図った。加えて、省エネ対策事業により、省エネの意識向上を図ることが出来た。				

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費	決 算 書
大事業	051 小学校管理事業			P. 195
中事業	01 小学校管理事業			所管 教育委員会事務局 部局 教育総務課
予算額	当初 補1号 補2号	決 算 額	不 用 額	
前年度	291,440 千円	286,487 千円	4,953 千円	
主な 国庫支出金	362,541 千円	338,720 千円	13,821 千円	
特定 寄附金	遠隔授業・研修システム整備事業補助金		745 千円	
財源	雑入（公衆電話使用料他）		400 千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】
市内の小学生在が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内19小学校施設の適正な維持管理を行う。

- 【事業の概要】
- ◆小学校管理事業 本庁
 - 賃金（臨時職員用務員） 15,338 千円
 - 旅費（用務員） 270 千円
 - 需用費（ブルーール用消毒剤・修繕料他） 17,723 千円
 - 委託料（各種保守点検委託料他） 5,793 千円
 - 使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピュータ他） 36,997 千円
 - 工事請負費（フェンス、教室、グラウンド改修工事他） 95,555 千円
 - 原材料費（机天板、椅子座面、グラウンド安定剤他） 10,784 千円
 - 備品購入費 1,914 千円
 - （遠隔授業・研修システムPC一式、鉄棒、牛乳保冷庫他） 6,241 千円

- ◆小学校管理事業 各小学校
 - 市内19小学校にて対応する維持管理費 94,698 千円
 - 需用費（消耗品費・光熱水費他） 85,039 千円
 - 役務費（通信運搬費他） 4,859 千円
 - 委託料（各種保守点検料） 2,111 千円
 - 使用料及び賃借料（複写機リース料他） 2,689 千円
- ◆省エネ対策事業
 - 使用料及び賃借料（デマンド監視システム使用料） 1,174 千円

【事業の成果と改善点等】
市内19小学校の適正な維持管理を行い、教育環境の改善に取り組んだ。ICT環境整備については、校務用のパソコンや12学校の遠隔授業・研修システムについて整備を行った。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費	決 算 書
大事業	101 小学校施設整備事業			P. 197
中事業	01 小学校施設整備事業			所管 教育委員会事務局 部局 教育総務課
予算額	補8号	決 算 額	不 用 額	
前年度	792,556 千円	320,500 千円	472,056 千円	
主な 国庫支出金	432,454 千円	37,422 千円	395,032 千円	
特定 市債	施設整備費補助金		59,418 千円	
財源	合併特別事業債		219,700 千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円	
【上記決算額内訳】				
当該年度分	予 算 額	402,102 千円	決 算 額	0 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	390,454 千円	繰越分決算額	320,500 千円
翌年度への繰越額	402,102 千円			

【事業の目的】
児童の安全安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校等について計画的に施設の大規模改修工事を行う。

- 【事業の概要】
- 役務費（申請手数料） 190 千円
 - 委託料<Ⅰ期工事> 6,680 千円
 - ・春江西小学校校舎大規模改修工事監理委託料 3,000 千円
 - （株）大澤設計事務所 3,680 千円
 - ・大石小学校校舎大規模改修工事監理委託料
 - （株）木下設計 313,630 千円
 - 工事請負費<Ⅰ期工事> 139,000 千円
 - ・春江西小学校校舎大規模改修工事 174,630 千円
 - （翌年度繰越）

- 役務費（申請手数料） 36 千円
- 委託料<Ⅱ期工事> 9,066 千円
- ・春江西小学校校舎大規模改修工事監理委託料 3,480 千円
- ・大石小学校校舎大規模改修工事監理委託料 5,586 千円
- 工事請負費<Ⅱ期工事> 393,000 千円
- ・春江西小学校校舎大規模改修工事 148,200 千円
- ・大石小学校校舎大規模改修工事（仮設校舎含む） 244,800 千円

【事業の成果と改善点等】
校舎大規模改修工事（Ⅰ期工事）を実施し、教育環境の整備・改善を行った。Ⅱ期工事については、国の交付金採択を受けて補正予算に計上し、全額を平成30年度へ繰り越した。

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 01 中学校管理費	決算書
大事業	051 中学校管理事業			P. 199
中事業	01 中学校管理事業			所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初 補1号 補7号	決 算 額	不 用 額	
前年度	105,719 千円	101,304 千円	4,415 千円	
主な 特定 財源	108,632 千円 指定寄附金 雑入（融雪ポンプ県負担金・公衆電話使用料他）	103,278 千円	5,354 千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
市内の中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内5中学校施設の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】

- ◆ 中学校管理事業 本庁 55,786 千円
 - 賃金（臨時職員用務員） 2,181 千円
 - 旅費（用務員） 11 千円
 - 需用費（修繕料他） 4,571 千円
 - 役務費（火災保険他） 1,465 千円
 - 委託料（各種保守点検委託料他） 17,936 千円
 - 使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピュータ他） 27,562 千円
 - 原材料費（机天板、椅子座面、グラウンド安定剤） 787 千円
 - 備品購入費（製水機、iPad、事務用機・椅子他） 1,273 千円

◆ 中学校管理事業 各中学校

- 市内5中学校にて対応する維持管理費 45,209 千円
 - 需用費（消耗品費・光熱水費他） 40,852 千円
 - 役務費（通信運搬費他） 2,249 千円
 - 委託料（各種保守点検料） 1,156 千円
 - 使用料及び賃借料（複写機リース料他） 952 千円

◆ 省エネ対策事業

- 使用料及び賃借料（デマンド監視システム使用料） 309 千円

【事業の成果と改善点等】

市内5中学校の適正な維持管理に努めた。また、省エネ対策については、教室等の適正な環境基準の中で、デマンドについて監視システムを活用し適正な運用に努めた。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 07 社会教育施設費	決算書
大事業	001 キンダーホール管理運営事業			P. 207
中事業	01 キンダーホール管理運営事業			所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	1,383 千円	1,235 千円	148 千円	
主な 特定 財源	3,519 千円	3,013 千円	506 千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
放課後の児童・生徒の居場所として当該施設を開放し、地域住民の集会等の開催場所として貸すことなどを通じて、青少年の健全育成や地域コミュニティの活性化を図る。

【事業の概要】

- 賃金（臨時職員） 988 千円
- 需用費（燃料費、光熱水費） 207 千円
- 役務費（電話料、火災保険料） 40 千円

【開館時間】 月・火・水・木・金（午後3時～6時）
（土曜日・日曜日・祝日・祭日・年末年始は休館）

【児童・生徒の利用状況】 単位：人

	年間利用者数	1日平均利用者数
平成29年度	2,314	9.0
平成28年度	2,043	8.1
平成27年度	2,460	10.0
平成26年度	1,942	7.9
平成25年度	1,194	4.8

【事業の成果と改善点等】
放課後の児童の利用や地域住民の集会場所として利用された。しかし、28年度の調査において耐震性が低く改修には多額の費用がかかるため、施設の閉鎖に向けて、引き続き地元との協議を行う。

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	14	教育振興整備基金費
大事業	001	教育振興整備基金			決算書		P. 229		
中事業	01	教育振興整備基金			教育委員会事務局 教育総務課		所管 部局		
予算額	当初	12千円			決算額		不用額		
前年度	財産収入	25千円			教育振興整備基金利子		7千円		
主な 特定 財源		11千円					14千円		
予算流用(増減)額		0千円			予備費充用額		0千円		

【事業の目的】
坂井市の将来を担う子どもたちを、健全に育成することを目的とした教育の振興及び教育施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。

【事業の概要】

- 積立金
教育振興整備基金利子

7千円

平成28年度末 現在高 ①	36,331千円	取崩額 ②	0千円	平成29年度中増減額 積立額 ③	7千円	平成29年度末 現在高①-②+③	36,338千円
------------------	----------	-------	-----	---------------------	-----	---------------------	----------

【事業の成果と改善点等】

利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	051	教育相談事業			決算書		P. 191		
中事業	01	教育相談事業			教育委員会事務局 学校教育課		所管 部局		
予算額	当初	13,771千円			決算額		不用額		
前年度	県支出金	12,336千円			スクールソーシャルワーカー活用事業委託金		147千円		
主な 特定 財源		12,137千円					199千円		
予算流用(増減)額		10千円			予備費充用額		0千円		

【事業の目的】
市内小中学校の児童生徒の不登校対策として、早期の学級復帰への支援、併せて保護者に対して子どもとの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。

【事業の概要】

◆教育相談事業

- 賃金 (指導員5名) 10,763千円
- 報償費 (教育支援委員手当他) 9,760千円
- 旅費 74千円
- 需用費 (消耗品費、光熱水費他) 59千円
- 役務費 (電話料、火災保険料、傷害保険料) 486千円
- 委託料 (各種保守点検料他) 141千円
- 使用料及び賃借料 (インターネット使用料、車両借上料他) 92千円
- 備品購入費 (消火器他) 87千円
- 負担金 (全国通称指導教室連絡協議会費) 59千円
- 賃金 (2名) 2,861千円
- 旅費 2,822千円

【事業の成果と改善点等】

不登校の児童生徒に対し、適応指導教室の指導員やスクールソーシャルワーカーの連携により、早期の学級復帰及び社会的自立に向け、保護者を含めた支援・指導を行った。また、学校と適応教室間で、本人の状況・特性等の情報を共有することにより、学校において不登校者の受け入れ方や関わり方に役立たせることができた。

【事業の実績等】

適応指導教室 通室者復帰率	通室者数	復帰者数	復帰率
	H29 10人	7人	70.0%
	H28 16人	11人	68.8%

不登校児童生徒数	小学生	中学生
	H29 16人	60人
	H28 9人	69人

*不登校による欠席日数が30日以上の人数

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費	決算書
大事業	101	学級運営支援事業						P. 191		
中事業	01	学級運営支援事業						教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初				決算額	不			用	額
前年度	82,925千円	78,159千円				4,766千円				
主な特定財源	80,213千円	74,830千円				5,383千円				
予算流用(増減)額	△ 10千円			予備費充用額			0千円			

【事業の目的】
市内の小中学校における学級運営の円滑化のため、学習面、生活面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う学級サポートターを配置するなど、教育環境の充実を図る。

【事業の概要】

- ◆学級運営支援事業
 - 貸金(学級サポートター) 77,196千円
 - 委託料(研修委託料) 76,574千円
 - 使用料及び賃借料(車両借上料他) 514千円
 - 使用料及び賃借料(車両借上料他) 108千円
- ◆問題行動サポート事業
 - 貸金(自立支援指導員) 963千円

【事業の成果と改善点等】
希望者がい、等により、学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポートターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化を図った。
また、学級サポートターを対象とした研修会を年2回実施することにより、支援のために必要な知識を習得することによるスキル向上を図った。

【事業の実績等】

	H29実績	H28実績
学級サポートター数	58人	58人
自立支援指導員数	7人	7人
中学校生徒相談員数(相談室)		

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費	決算書
大事業	201	魅力ある学校づくり調査研究事業						P. 193		
中事業	01	魅力ある学校づくり調査研究事業						教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初				決算額	不			用	額
前年度	841千円	569千円				272千円				
主な特定財源	665千円	429千円				236千円				
予算流用(増減)額	魅力ある学校づくり調査研究事業委託金			予備費充用額			0千円			

【事業の目的】
近年、全国的に不登校児童生徒数が増加傾向にあり、坂井市においても増加している状況から、不登校における学校での取組みを検証する。平成29年度は、市内全校を対象として県教育委員会及び市教育委員会が連携して事業に取り組み、坂井市全体の不登校対策を推進する。

【事業の概要】

- 【実施校】 市内全24小中学校
- 【負担割合】 県 10/10
 - 報償費(研修会講師謝礼) 25千円
 - 旅費(特別旅費：連絡協議会、先進地視察) 328千円
 - 需用費 177千円
 - 消耗品費(事務用消耗品) 52千円
 - 食糧費(会議用飲み物代) 16千円
 - 印刷製本費(ポスター印刷) 109千円
 - 使用料及び賃借料(車両借上料、有料道路通行料) 10千円
 - 備品購入費(生徒指導関連図書購入) 29千円

【事業の成果と改善点等】
具体的な取り組みとして、「互いのよさを認め 主体的に学び高め合う児童生徒の育成」を主体的なテーマとした。児童生徒に対してアンケートを実施し、学校が楽しく授業がよく分かることが不登校対策につながることを理解され、集団づくりと授業づくりに対する取り組みについてを協議した。
集団づくりでは、学校行事を通してみんなで何かをする楽しさ、授業づくりでは、よくわかる楽しい授業により、主体的に授業に取り組み児童生徒を育成する。これからも、継続して市全体の小中学校区で推進する。

予 算 款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
大 事 業	001 小学校教育振興事業				決 算 書 P. 197
中 事 業	01 小学校教育振興事業				所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額		
	46,425 千円	43,027 千円	3,398 千円		
前年度	43,367 千円	39,078 千円	4,289 千円		
主 体	原支出金	道徳教育総合推進事業委託金	149 千円		
特 定	県支出金	地域と進める体験推進事業補助金	1,000 千円		
財 源			千円		
予 算 流 用 (増 減) 額		0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円	

【事業の目的】
児童に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】
◆小学校教育振興事業 本庁
市内19小学校の統一的な教育振興事業
○賞金 (外国語指導助手 9名)
○報償費 (卒業記念品)
○需用費 (教材用消耗品)
○委託料 (各作品展運営委託料)
○使用料及び賃借料 (校外活動車両借上料他)
○備品購入費 (特別支援学級用教材)
○負担金 (特別支援学級研修会負担金他)
○補助金 (教職員大学院派遣事業補助金)

◆小学校教育振興事業 各小学校
市内19小学校にて対応する教育振興事業
○報償費 (講師謝礼)
○需用費
消耗品費 (教材用)
印刷製本費 (卒業証書・保健調査票等の印刷)
修繕料 (教材備品の修繕)
○備品購入費 教材用備品
図書購入費 図書購入費

18,157 千円
4,129 千円
906 千円
9 千円
155 千円
12,117 千円
368 千円
332 千円
141 千円

22,721 千円
138 千円
11,372 千円
10,341 千円
600 千円
431 千円
7,236 千円
3,975 千円

【次頁へ】...

予 算 款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
大 事 業	001 小学校教育振興事業				決 算 書 P. 197
中 事 業	01 小学校教育振興事業				所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課

◆道徳教育総合推進事業
【実施校】 2校 (三国北小、木部小)
【負担割合】 県 10/10
講師謝礼
消耗品費 (教材用)

149 千円
65 千円
84 千円

実施校	事業年度	主 注 活 動 計 画 内 容	2,000 千円
三国南小	H28~H30	地産地消や収穫感謝祭、伝統行事や伝統芸能への参加	
三国北小	H29~H31	地域行事 (祭、帯のまち流し) 参加、三圃の歴史調べ	
加戸小	H29~H31	地元畑作物生産学習 (加戸のお茶・そば)、地域との文化交流、農産物の販売等	
長畝小	H29~H31	米づくり・地産地消学習、長畝・竹田地区歴史学習	
鳴鹿小	H29~H31	どろんこ教室の実施、まほろば学習、地域交流 (いち作り)	
明章小	H29~H31	地域の魅力調査と地域高齢者との交流事業	
香江西小	H29~H31	地域交流事業 (米づくり、生け花クラブ、ちぎり絵クラブ)	
香江東小	H29~H31	アーモンドの里づくりによる地域交流事業	
大岡小	H29~H31	大岡フェスティバル (地域交流: 米作り等)、敬者会への参加	
木部小	H29~H31	地域交流事業 (米・野菜づくり、スイーツづくりと販売) 等	

【事業の成果と改善点等】
英語力向上のため、外国語指導助手 (AET) を小学校4年~6年のクラスに配置し (4年生は年6時間、5・6年生は年35時間)、児童の英語を活用したコミュニケーション能力の向上を図った。
地域と進める体験推進事業については、10校で実施し、地域に誇りや愛着を持つ児童を育成していく内容に取り組んだ。平成30年度より、すべての小学校で取り組むこととなっている。
また、小学校図書館の運営支援として、中学校へ配置している図書館司書が教育委員会や校区内小学校と定期的に意見交換しながら、図書室の充実に努めた。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大 事 業	001	小学校教育振興事業	決 算 書 P. 197
中 事 業	06	小学校児童健康管理事業	所 管 部 局 教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	当 初	決 算 額	不 用 額
	18,666 千円	17,701 千円	965 千円
前年度	18,405 千円	18,345 千円	60 千円
主 な 特 定 財 源	原支出金 子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金 雑入（日本スポーツ振興センター負担金）		172 千円 2,430 千円 千円
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円

【事業の概要】
小学校における児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。
・内科及び歯科（全学年）、眼科（2年・5年）、耳鼻科（1年～3年）
・寄生虫（1年～3年）、尿（全学年）、
心電図（1年）

- 報償費（医師・歯科医師・薬剤師手当） 10,304 千円
 - 需用費（事務用消耗品・印刷費） 330 千円
 - 役員費（検査機器点検手数料） 54 千円
 - 委託料（健康診断委託料） 1,757 千円
 - 備品購入費（保健衛生用備品購入費） 287 千円
 - 負担金（日本スポーツ振興センター負担金） 4,969 千円
- 加入者数 5,280人 給付件数 364件

【事業の成果と改善点等】
学校医及び学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により児童一人一人の健康課題について指導を行い、児童の健康保持・増進を図った。
また、県の補助を受け、秋の歯科健診を実施し、保健指導、経過観察および治療への継続的なケアを行い、歯の治療率の向上を図った。

【事業の実績等】

	H29実績	H28実績
スポーツ保険給付件数	364件	372件

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大 事 業	001	小学校教育振興事業	決 算 書 P. 197
中 事 業	21	学校生活ボランティア推進事業	所 管 部 局 教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	当 初	決 算 額	不 用 額
	175 千円	149 千円	26 千円
前年度	150 千円	126 千円	24 千円
主 な 特 定 財 源	原支出金 学校生活ボランティア推進事業補助金		143 千円 千円 千円
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円

【事業の目的】
学校活動において、保護者及び地域の人たちのボランティアによる活動を取り入れ、児童の学校生活を支援することで、地域と連携したきめ細かな教育体制の充実に努める。

【事業の概要】

○ 役員費（協賛保険料） 加入者数 427人 149 千円

【事業の成果と改善点等】
市内すべての小学校において、読み聞かせや収獲体験等の活動に対し、学校生活ボランティアとして地域の方々の協力をいただいた。
特に収獲体験については、農業の専門性を持った地域の方々から直接学ぶことにより、地域力を活かした教育が実現した。

【事業の実績等】

	H29実績	H28実績
加入者数	427人	419人

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費	決 算 書 P. 197
大 事 業	001 小学校教育振興事業			所管 教育委員会事務局 部 局 学校教育課
中 事 業	26 ふれあい交流事業			不 用 額
予 算 額	当初	決 算 額		
前年度	4,921 千円	4,490 千円	431 千円	
主 な 特 定 財 源	4,801 千円	4,275 千円	526 千円	
	指定寄附金		203 千円	
予 算 流 用 (増 減) 額		△ 320 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円

【事業の目的】
市の将来を担う子どもたちが、様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持てるよう、子どもたち同士の交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進する。

【事業の概要】

- 報償費 39 千円
- 需用費 136 千円
- 食糧費 131 千円
- 委託料 200 千円
- 使用料及び賃借料 102 千円
- 車両借上料 3,848 千円
- 機材借上料 22 千円
- 体験学習使用料 12 千円

【事業の成果と改善点等】

市内の全小学校において、地域交流事業、小中連携事業、音楽交流会、連合運動会、自然教室を実施した。スキー教室は、全小学校で実施予定であったが、大雪のために、2校のみ実施することができなかった。ふれあい交流事業については、県や市の魅力などを体験できるような取り組みを継続して実施する。
また、時代とともに変化する学習環境の中で、子どもたちに必要な事業を検討する。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費	決 算 書 P. 199
大 事 業	001 小学校教育振興事業			所管 教育委員会事務局 部 局 学校教育課
中 事 業	31 学力充実推進事業			不 用 額
予 算 額	当初	決 算 額		
前年度	2,160 千円	2,121 千円	39 千円	
主 な 特 定 財 源	2,158 千円	2,126 千円	32 千円	
予 算 流 用 (増 減) 額		0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円

【事業の目的】
児童一人ひとりの「確かな学力」の育成状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために全学年での学力調査を実施し、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。

【事業の概要】

毎年4月に小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査にあわせて、全小学校の2～5年生の国語・算数の学力調査を行う。
調査の結果を踏まえ、各小学校の傾向や課題を見つけて、これを解決することや対策を早出すことを目的とした各小学校の研究主任によるワークショップを開催し、学力向上のための取組みを行う。

○ 委託料 (学力調査委託料)
受験者数 6,999人

2,121 千円

【事業の成果と改善点等】

全国で実施した大規模モニター調査によって標準化された「偏差値」に基づき、坂井市における児童の「確かな学力」を分析している。
また、各小学校においては、その学校の児童の調査結果に基づき継続的・実践的な取り組みにより、学力向上と教員の指導力向上が図られた。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	051 児童就学援助事業		決 算 書 P. 199
中事業	01 児童就学援助事業		所管 教育局 部局 学校教育課
予算額	当初 補2号	決 算 額	不 用 額
	29,938 千円	25,337 千円	4,601 千円
前年度	24,300 千円	22,225 千円	2,075 千円
主な 特定 財源	特別支援教育就学奨励費補助金		
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】

経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・医療費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費

特別支援教育就学援助費
要・ 準要保護児童就学援助費

2,908 千円
22,429 千円

【事業の成果と改善点等】

就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
要・ 準要保護児童就学援助費については、国の基準単価にに基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。

【事業の実績等】

	H29実績	H28実績	増減
特別支援教育就学援助人数	93人	80人	13人
要・準要保護児童就学援助人数	322人	296人	26人

H29には、新1年生入学準備金対象者の23人を含む

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	101 小学校通学支援事業		決 算 書 P. 199
中事業	01 小学校通学支援事業		所管 教育局 部局 学校教育課
予算額	当初 補2号	決 算 額	不 用 額
	83,970 千円	83,935 千円	35 千円
前年度	79,876 千円	78,870 千円	1,006 千円
主な 特定 財源	雑入(スクールバス利用者協力金)		
予算流用(増減)額	320 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
市内の小学校に通学する児童に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行する等、遠距離通学の解消と、より安全・安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】
遠距離通学者の通学距離に応じて、委託スクールバスの運行や路線バス利用料金の補助を行う。

区分	要 件
1年生～3年生	学校からの距離で、概ね1.5km以上の地区
4年生～6年生	学校からの距離で、概ね2.0km以上の地区
	冬期間(12月～2月)のみ1.5km以上の地区

※利用期間は4月～3月(8月は除く)

○需用費(乗車証印刷製本費) 43 千円
○委託料 76,858 千円

・スクールバス運行
三国地区1台(通年・冬期)
丸岡地区7台(通年・冬期)
春江地区4台(通年・冬期)
坂井地区4台(通年・冬期)

○使用料及び賃借料(車両借上料 三国地区) 172 千円
○補助金
・通学費補助金(三国地区) 6,180 千円
・スクールバス停建設補助金(三国町米納津・山岸) 682 千円

【事業の成果と改善点等】
通学距離が一定距離以上の地区の児童を対象として、スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、安全で安心な通学手段を確保することができた。第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。

【事業の実績等】

	H29実績	H28実績	増減
バス利用者数	1,379人	1,332人	47人

予算款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業			決算書 P. 201
中事業	01	中学校教育振興事業			所管部局 教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初補1号	決算額	不用額		
	29,250 千円	27,687 千円		1,563 千円	
前年度	43,493 千円	41,502 千円		1,991 千円	
主な	環境・エネルギー教育支援事業			1,853 千円	
特定	地域と進める体験推進事業補助金			300 千円	
財源	道徳教育総合推進事業委託金			130 千円	
予算添用(増減)額	0 千円	予備費充用額		0 千円	
【事業の目的】 生徒に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実を図る。					
【事業の概要】					
◆中学校教育振興事業 本庁 13,030 千円					
市内5中学校の統括的な教育振興事業					
○買金	学校図書館司書 5名			11,560 千円	
○報償費	卒業記念品(印鑑)			603 千円	
○旅費	普通旅費			28 千円	
○需用費	消耗品費			5 千円	
○使用料及び賃借料	音楽会及び特別支援学級合同研修会バス借上			564 千円	
○負担金	県特別支援学級設置学校長会負担金			13 千円	
	坂井地区特別支援学級合同学習会負担金			116 千円	
○補助金	教職員大学院派遣事業補助金			141 千円	
◆中学校教育振興事業 各中学校 11,996 千円					
市内5中学校にて対応する教育振興事業					
○報償費	講師謝礼			76 千円	
○需用費	消耗品費(教材用)			5,550 千円	
	印刷製本費(卒業証書・保健調査票等の印刷)			804 千円	
	修繕料(教材備品の修繕)			373 千円	
○役務費	職場体験陽言保険料(2年生)			129 千円	
○備品購入費	教材用備品			2,684 千円	
	図書購入費			2,380 千円	

【次頁へ】...

予算款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業			決算書 P. 201
中事業	01	中学校教育振興事業			所管部局 教育委員会事務局 学校教育課
... 【前頁より】					
◆環境・エネルギー教育支援事業 1,853 千円					
【実施校】 市内5中学校					
【負担割合】 県 10/10					
○備品購入費(理科教材用備品) 1,853 千円					
◆キャリア教育支援事業 78 千円					
○報償費 講師・協力者謝礼					
◆地域と進める体験推進事業 600 千円					
【実施校】 市内3中学校(三國中・丸岡南中・坂井中)					
【負担割合】 県 1/2					
○委託料(地域と進める体験学習委託料) 600 千円					
実施校 事業年度 主な活動計画内容					
三國中	H28~H30	ふるさと調査及び市町見学、職業講演会、清掃活動			
丸岡南中	H29~H31	ふるさと地域学習(地域のPR・調査活動等)			
坂井中	H29~H31	アラウローロード大作戦、地域行事(夏まつり)への参加			
◆道徳教育総合推進事業 130 千円					
【実施校】 市内2中学校(丸岡南中・坂井中)					
【負担割合】 県 10/10					
○報償費 講師謝礼 30 千円					
○需用費 消耗品費 100 千円					
【事業の成果と改善点等】 各中学校に1名ずつ配置している学校図書館司書と教育委員会が連携して、学校図書館における生徒の意欲的な学習活動や読書活動の充実を推進している。 また、職場体験をはじめとするキャリア教育では、それぞれの中学校の生徒が職業体験などを実施した。坂井地区キャリアフォーラムを開催し、坂井市の魅力や特徴、そして生徒自身の将来について考える機会を設ける予定であったが、大雪により中止となった。 地域と進める体験推進事業においては、三國中・丸岡南中、坂井中が自らの地域について学習し、地域行事に参加して、地域に誇りや愛着を持つ生徒を育成していく内容に取り組んだ。今後すべての中学校で取り組む予定となっている。					

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費	決 算 書
大事業	001	中学校教育振興事業		P. 201
中事業	06	中学校生徒健康管理事業		教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	7,570 千円	7,255 千円	315 千円	
前年度	7,897 千円	7,741 千円	156 千円	
主な 特定 財源		雑入(日本スポーツ振興センター負担金)	1,200 千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】
学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。
・内科、歯科健診の実施(全学年)
・尿(全学年)、心電図(1年)検査の実施

- 報酬費(医師・歯科医師・薬剤師手当) 3,232 千円
 - 需用費(健診票等印刷費) 80 千円
 - 役務費(検査機器点検手数料) 43 千円
 - 委託料(健康診断委託料) 1,434 千円
 - 負担金(日本スポーツ振興センター負担金) 2,466 千円
- 加入者数 2,609人 給付件数 419件

【事業の成果と改善点等】
学校医及び学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により生徒一人一人の健康課題について指導を行い、生徒の健康保持・増進を図った。

【事業の実績等】

スポーツ保険給付件数	H29実績 419件	H28実績 534件
------------	---------------	---------------

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費	決 算 書
大事業	001	中学校教育振興事業		P. 203
中事業	16	クラブ活動推進事業		所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初	補1号 補2号	決 算 額	不 用 額
	24,252 千円	24,039 千円	213 千円	
前年度	23,125 千円	23,036 千円	89 千円	
主な 特定 財源		地域スポーツ指導者配置事業補助金	336 千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
学校教育の一環として、課外活動であるクラブ活動を実施し、技術力・競技力の向上を図るとともに、出場する全国大会などの部活動の実践の機会を支援することにより、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てる。

【事業の概要】
◆ クラブ活動推進事業 23,005 千円
○ 報償費(激励費) 4,465 千円
部活動において大会(北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等)に出場する生徒及び指導者に対する経費の一部を支給。
・北信越中学校総合競技大会(長野県内) 1,758 千円
団体6種目70人・個人9種目39人

- 【出場種目】卓球(女)・新体操・バスケットボール(男女)
相撲・ソフトテニス(女)・陸上(男女)・バドミントン(女)
柔道(男女)・ソフトボール(女) 842 千円
- ・全国中学校体育大会(九州各地区)
 - 【出場種目】卓球(男女)・柔道(男)・陸上(男) 375 千円
 - ・北陸吹奏楽コンクール(石川県金沢市) 1,350 千円
 - ・中部日本吹奏楽コンクール(静岡県浜松市) 29 千円
 - ・北陸アンサンブルコンテスト 46 千円
 - ・中部日本個人・重奏コンテスト 65 千円
 - ・全国中学校スキー大会(秋田県)

○ 委託料(中学校クラブ活動競技力向上委託料) 16,571 千円
部活動の競技力を向上を図るため、強化練習会等競技力向上を目的とする事業を各中学校に委託。
・三国中学校 3,431 千円 (514人 (23/77))
・丸岡中学校 3,622 千円 (601人 (23/77))
・丸岡南中学校 2,751 千円 (387人 (19/77))
・春江中学校 4,189 千円 (722人 (26/77))
・坂井中学校 2,578 千円 (399人 (17/77))

予算款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業			決算書 P. 203 所管部局 教育委員会事務局 学校教育課
中事業	16	クラブ活動推進事業			
…【前頁より】					
○備品購入費（丸岡中・春江中 吹奏楽部楽器購入費） 1,969 千円 ・丸岡中学校（クラリネット） ・春江中学校（チューバ・ホルン・シンバル）					
◆地域スポーツ指導者配置事業 1,034 千円 【実施校】市内4中学校（丸岡中・丸岡南中・春江中・坂井中） 【負担割合】県 1/3 ○報酬費（指導員13名） ○役員費（傷害保険料） 24 千円					
【事業の成果と改善点等】 クラブ活動の環境が整備されたことにより、生徒の技術力・競技力が向上し、全国大会等への出場機会が増え、生徒の更なる意欲向上につながることができた。 教員の働き方改革の対策の一つとして、また、生徒のスポーツ活動における技術向上のため、外部指導者を配置した。					

予算款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費
大事業	051	生徒就学援助事業			決算書 P. 203 所管部局 教育委員会事務局 学校教育課
中事業	01	生徒就学援助事業			
予算額	当初補2号	決算額		不	用額
前年度	35,801 千円	29,974 千円			5,827 千円
主な特定財源	国庫支出金	26,400 千円	25,792 千円		608 千円
		特別支援教育就学奨励費補助金			701 千円
予算減額(増減)額			0 千円	予備費充用額	0 千円
【事業の目的】 学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。					
【事業の概要】 経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・医療費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。 ○扶助費 特別支援教育就学奨励費 1,402 千円 要・準要保護生徒就学奨励費 28,572 千円					
【事業の成果と改善点等】 就学援助を必要とする生徒に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 要・準要保護児童就学奨励費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。					
【事業の実績等】					
		H29実績	H28実績	増減	
特別支援教育就学援助人数		30人	30人	0人	
要・準要保護生徒就学援助人数		232人	243人	△11人	

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費	決 算 書
大 事 業	101 中学校通学支援事業			P. 203
中 事 業	01 中学校通学支援事業		所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	当初 補2号	決 算 額	不 用 額	
前年度	48,998 千円	48,516 千円	482 千円	
主 な 財 源	49,626 千円	47,381 千円	2,245 千円	
	雑入(スクールバス利用者協力金)		5,680 千円	
予 算 流 用 (増減) 額		0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円

【事業の目的】
市内の中学校に通学する生徒に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行し、遠距離通学の解消と、より安全、安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】
通学距離が一定の基準を超える通学者に対して、スクールバスの委託運行や路線バス利用料金の補助を行う。

全 学 年	区 分
	学校からの距離で、概ね4.0km以上の地区
	冬期間(12月~2月)のみ3.0km以上の地区

※利用期間は4月~3月(8月は除く)

○委託料

- ・スクールバス運行
 - 三国地区5台(通年・冬期)
 - 丸岡地区4台(通年・冬期)
 - 香江地区3台(冬期)
 - 坂井地区3台(通年・冬期)
- 補助金(通学バス運行支援事業補助金) 丸岡南中学校区
 - 3,116 千円

【事業の成果と改善点等】
通学距離が一定の基準を超える生徒を対象に、スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学の解消と安全、安心な通学を確保することができた。第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。
また、地域からの要望により、地域団体が主体的に取り組む通学バス運行についての経費支援について、通学バス運行支援事業補助金を創設し交付を行った。

【事業の実績等】

バス利用者数	H29実績	H28実績	増減
	608人	638人	△30人

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書
大 事 業	051 学校給食管理事業			P. 223
中 事 業	01 学校給食管理事業		所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	88,828 千円	83,306 千円	5,522 千円	
主 な 財 源	74,456 千円	72,767 千円	1,689 千円	
	電源地域振興補助金		4,700 千円	
予 算 流 用 (増減) 額		0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円

【事業の目的】
「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

○賞金

- 丸岡地区自校調理場調理師 10名
- 三国学校給食センター調理師 14名
- 香江坂井学校給食センター調理師 25名

○需用費 料理講習会用材料費

71 千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡自校式や三国、香江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、臨時職員の確保等、安定した調理体制の確立を図った。
また、管理栄養士や給食調理員を対象とした研修の実施、また、衛生管理マニュアルを見直し、衛生管理等の向上に努めた。
さらに、地産地消を推進するために、県の地産地消コーディネーター事業を活用して、農業関連団体、地元生産者による検討委員会を開催した。三国港で水揚げされた日工をを使用した工団子と坂井市産の野菜だけで調理した「Sakaiふるスープ」を開発し、全小中学校で同日に提供した。今後も、継続して地産地消の推進に努める。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	学校給食費
大 事 業	051 学校給食管理事業	決 算 書 P. 225 教育委員会事務局 学校教育課		
中 事 業	16 丸岡学校給食管理事業	所 管 部 局 不 用 額		
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額	
	233,239 千円	226,572 千円	6,667 千円	
前年度	239,623 千円	234,383 千円	5,240 千円	
主 な 財 源	雑入(小学校給食負担金)		99,090 千円	
特 定 財 源	雑入(中学校給食負担金)		57,042 千円	
財 源 諸 収 入	雑入(厨房設備使用料他)		1,510 千円	
予 算 流 用 (増 減) 額	572 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円	

【事業の概要】
 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

- 【事業の概要】
 ◆丸岡学校給食管理事業 本庁 5,394 千円
- 旅費 4 千円
 - 需用費 1,235 千円
 - 消耗品(給食衛生用消耗品) 828 千円
 - 修繕料(給食用器具等修繕料) 264 千円
 - 役務費 57 千円
 - 食材検査手数料 499 千円
 - 調理師等場内細菌検査手数料 721 千円
 - 調理場内害虫駆除委託料 1,786 千円
 - 給食用備品購入費
 - フライヤー、保存食用冷蔵庫3台、食缶

- ◆丸岡学校給食管理事業 丸岡 221,178 千円
- 自校式5校2園(平草小・長畝小・高涼小・磯部小・明草小・高涼幼・磯部幼)
 - 需用費 1,487 千円
 - 消耗品費(給食用消耗品費他) 7,251 千円
 - 光熱水費(ガス)
 - 備品購入費 96,860 千円
 - 賄材料費(給食材料費及び牛乳代)

【次頁へ】...

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	学校給食費
大 事 業	051 学校給食管理事業	決 算 書 P. 225 教育委員会事務局 学校教育課		
中 事 業	16 丸岡学校給食管理事業	所 管 部 局		

…【前頁より】

- 民間委託3校(丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小) 86 千円
- 需用費 9,496 千円
- 消耗品費(給食用消耗品費)
- 賄材料費(給食材料費及び牛乳代) 105,998 千円
- 委託料 学校給食調理業務等委託料
- ・ C ネットふくくい委託分(鳴鹿小) 13,158 千円
- ・ C ネットふくくい委託分(丸岡南中) 50,057 千円
- ・ (有) ランチサービス委託分(丸岡中) 42,783 千円

給食の状況	給食人員(日)	給食延数
	3,176人	597,149食

【事業の成果と改善点等】
 丸岡の学校給食については、自校式および調理業務委託により実施し、学校給食衛生管理基準に基づき適正な衛生管理に努めた。
 また、給食の食料確保については、地元業者や地産産を中心とした安全・安心な食料の購入を基本に、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供を図った。
 今後も管理栄養士が中心となり、新鮮で安全な食料の質と量の供給体制について検討し、地産産食料使用率の向上に努める。

【事業の実績等】

地産産(県産)食料	H29	H28
使用率(実績)	56.6%	54.4%

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書
大 事 業	101 学校給食施設建設事業			P. 225
中 事 業	01 学校給食施設建設事業			教育委員会事務局 学校教育課
予 算 額	当 初	決 算 額	不 用 額	
	28,300 千円	27,914 千円	386 千円	
前年度	0 千円	0 千円	0 千円	
主 な 特 定 財 源	市 債	合併特例事業費	13,000 千円	
予 算 流 用 (増 減) 額	△ 572 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円	

【事業の目的】
老朽化が著しい三国学校給食センターを、学校給食の提供における様々な課題点を踏まえ、園児・児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供するために、国の学校給食衛生管理基準等に適合した施設に平成32年4月からの提供開始に向けて整備する。

【事業の概要】
 ○ 報償費 (プロポーザル審査員謝礼) 13 千円
 ○ 役務費 (建築確認手数料) 475 千円
 ○ 委託料 (設計委託料) 27,426 千円
 ・ コンサルティング委託料 21,600 千円
 ・ 登記業務委託料 4,428 千円
 ・ 1,398 千円

【事業の成果と改善点等】
平成32年4月提供開始に向けて、建築設計業者1社と厨房機器業者1社で構成する事業組織体によるプロポーザルを実施し、業者の選定を行った。プロポーザルの結果に基づき決定した設計業者と厨房業者で協議を重ねて、基本設計及び実施設計が完成した。設計書に基づき建設業務に取り掛かる。また、調理および洗浄業務を民間委託することを計画しているため、その準備に取り掛かる。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書
大 事 業	051 学校給食管理事業			P. 223
中 事 業	06 三国学校給食管理事業			教育委員会事務局 三国学校給食センター
予 算 額	当 初	決 算 額	不 用 額	
	134,865 千円	132,307 千円	2,558 千円	
前年度	150,483 千円	147,367 千円	3,116 千円	
主 な 特 定 財 源	諸収入	雑入 (小学校給食負担金)	59,482 千円	
		雑入 (中学校給食負担金)	31,859 千円	
		雑入 (その他教育費雑入)	26 千円	
予 算 流 用 (増 減) 額	0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円	

【事業の目的】
「園児・児童・生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】
 中学校1校 (三国)、小学校6校 (三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・木部) 総計7施設の給食を提供する。その他、幼保園5園 (みくに未来・宿・安島・加戸・三国南) についても福祉予算 (保育園費) にて提供している。

○ 需用費 114,632 千円
 消耗品費 2,587 千円
 燃料費、光熱水費 17,782 千円
 修繕料 1,858 千円
 賄材料費 92,405 千円

給食の状況	給食人員		給食延数
	学 校	1,839人	339,186食
	幼保園	482人	109,867食
合 計		2,321人	449,053食

○ 役務費 852 千円
 通信運搬費 161 千円
 手数料 636 千円
 火災保険料 15 千円
 自動車保険料 40 千円

○ 委託料 16,720 千円
 害虫駆除委託料 173 千円
 警備保障委託料 188 千円

【次頁へ】...

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費
大事業	051 学校給食管理事業		決算書 P. 223 教育委員会事務局 三国学校給食センター
中事業	06 三国学校給食管理事業		
…【前頁より】			
	受水槽管理委託料	103 千円	
	消防設備保守点検委託料	27 千円	
	清掃委託料	167 千円	
	電気工作物保守点検委託料	162 千円	
	コピー機保守点検委託料	45 千円	
	栄養管理システム保守委託料	77 千円	
	地下タンク定期検査委託料	103 千円	
	給食配送業務委託料	15,373 千円	
	ポイラー保守点検委託料	302 千円	
	○使用料及び賃借料	62 千円	
	CATV利用料	34 千円	
	電算機器借上料	14 千円	
	放送受信料	14 千円	
	○備品購入費	31 千円	
	給食用備品購入費		
	○負担金	3 千円	
	学校給食センター連絡協議会負担金		
	○公課費	7 千円	
	自動車重量税		
【事業の成果と改善点等】 地場産を中心とした安全・安心な物資の購入を基本に、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めた。農業関連団体、地元生産者等と連携し、質と量の供給体制、栽培契約の実施などにより安定した納品が見込め使用率の向上につながった。今後、農産物や水産物の旬な時期に合わせた地元産の食材を献立メニューに取り入れながら、積極的に食育及び地産地消に取り組んでいく。			
【事業の実績等】			
地場産（県産）食材の		H29	H28
使用率（実績）		64.6 %	61.5 %

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費
大事業	051 学校給食管理事業		決算書 P. 223 教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター
中事業	11 春江坂井学校給食管理事業		
予算額	当初	決算額	不用額
	276,481 千円	269,391 千円	7,090 千円
前年度	273,141 千円	268,694 千円	4,447 千円
主な	雑入（小学校給食負担金）		119,243 千円
特定	雑入（中学校給食負担金）		66,002 千円
財源	雑入（その他教育費）		30 千円
予算	流用(増減額)	0 千円	予備費(充用額) 0 千円
【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣、食に関する指導の充実を図る。			
【事業の概要】 中学校2校（春江・坂井）、小学校7校（春江・春江西・大石・春江東・東十郷・大関・兵庫）、幼保園2園（春江・春江東）、計11施設に給食を提供する。			
○需用費			
	消耗品費	4,342 千円	
	燃料費	31 千円	
	光熱水費	35,090 千円	
	修繕費	1,012 千円	
	脂材料費	194,464 千円	
	給食の状況	給食人員 3,898人	給食延数 706,794食
○役務費			
	通信運搬費	208 千円	
	手数料	958 千円	
	火災保険料	37 千円	
	自動車保険料	25 千円	
234,939 千円			
1,228 千円			
【次頁へ】...			

予 算 款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	04 学校給食費	決 算 書
大事業	051 学校給食管理事業					P. 225
中事業	11 春江坂井学校給食管理事業					教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター

...【前頁より】

○委託料	31,955千円
イレクター保守点検委託料	648千円
害虫駆除委託料	226千円
蓄備保障委託料	45千円
施設管理委託料	485千円
施設保守点検委託料	6,259千円
受水槽管理委託料	216千円
消防設備保守点検委託料	399千円
電気工作物保守点検委託料	588千円
電算機器保守点検委託料	78千円
配送業務委託料	20,196千円
一般廃棄物収集委託料	142千円
ポイラー保守点検委託料	679千円
シルバー人材センター調理員業務委託料	1,794千円
調理機器点検委託料	200千円
○使用料及び賃借料	97千円
放送受信料	14千円
有料道路通行料	14千円
デマンド監視システム使用料	69千円
○備品購入費	1,165千円
事務用備品購入費	17千円
公用車購入費	956千円
施設用備品購入費	28千円
給食用備品購入費	164千円
○負担金	5千円
○公課費	2千円

【事業の成果と改善点等】
給食の材料確保については、地場産を中心とした安全・安心な食材の購入を基本に、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めた。また、新たな取り組みとして、地元産の食材でエビ団子スープを作り提供した。今後も、安全な食材の質と量の供給体制にむけ、農業関連業者、地元生産者等と連携をとりながら地場産食材の使用率向上に努める。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材	H29	H28
使用率（実績）	54.8 %	57.6 %

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	決 算 書
大事業	051 社会教育事業					P. 203
中事業	01 社会教育事務事業					教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	10,685千円	10,465千円	220千円
主な特定財源	10,578千円	10,506千円	72千円
県支出金	人権問題社会教育指導員設置費補助金		
予算流用(増減)額	0千円	予備費充用額	0千円

【事業の目的】
社会教育法に基づき、社会教育委員は、社会教育行政全般について、調査及び審議を通じて啓蒙・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に置くことで、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、地域の活性化を図る。

【事業の概要】
社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営
 ○報酬 社会教育委員 15名 510千円
 ○賞金 社会教育指導員 5名 8,993千円
 ○旅費 122千円
 ○需用費 35千円
 消耗品費 9千円
 食糧費 4千円
 印刷製本費 22千円
 委託料 734千円
 講演会業務委託料
 負担金 71千円
 県社会教育委員連絡協議会負担金 39千円
 東海北陸社会教育研究大会負担金 6千円
 県社会教育研究会参加負担金 11千円
 県社会教育連絡協議会費 15千円

【事業の成果と改善点等】
社会教育委員の会議を3回開催し、地区、県開催の各研修会へ参加した。この他、合従通学事業の実行委員として事業視察を行い、子ども会壁新聞コンクールの審査や、青少年健全育成推進大会、心の教育講演会等への参加などの活動を行った。社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図っている。
また、生涯学習講演会は「福井しあわせ元気国体2018」300日前イベントの一環として元横浜FC城彰二氏、お笑い芸人ペナルティによるトークショー「夢をかたち」を開催した。

予算款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 01 社会教育総務費
大事業	051 社会教育事業		決算書 P. 203
中事業	06 社会教育団体補助事業		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決算額	不用額
前年度	1,910 千円	1,860 千円	50 千円
主な 特定 財源	1,810 千円	1,810 千円	0 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。

【事業の概要】

- 負担金 50千円
- PTA 東海北陸ブロック研究大会福井県大会 50千円
- 補助金 1,810千円
- 坂井市PTA連合会事業補助金 250千円
- 青少年育成団体運営補助金 210千円
- ・ボーイスカウト第5団 70千円
- ・ガールスカウト第17団 70千円
- ・ガールスカウト第20団 70千円
- 坂井市かるた協会事業補助金 350千円
- 坂井市女性の会運営補助金 1,000千円

【事業の成果と改善点等】

地域社会の活力向上や、社会教育活動を通して市民の交流、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営の支援、組織の育成を行った。各団体には、会費収入等自己財源の確保と補助金依存割合の適正化を促しており、坂井市女性の会については、平成25年度より補助額を段階的に見直している。また、ボーイスカウト第6団は平成26年度から団員の減少による活動の縮小により補助金は辞退している。

予算款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 01 社会教育総務費
大事業	151 市民運動推進事業		決算書 P. 205
中事業	01 市民運動推進事業		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決算額	不用額
前年度	416 千円	416 千円	0 千円
主な 特定 財源	399 千円	399 千円	0 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。

【事業の概要】

- 負担金 416千円
 - 坂井市民運動推進協議会負担金 220千円
 - あすの福井県を創る協会負担金 196千円
- 第12回坂井市花壇コンクール
審査日 9月25日(月) 三国地区・丸岡地区
9月26日(火) 春江地区・広域 9月27日(水) 坂井地区
場 所 市内の花壇
参加数 67地区団体
- 坂井市ふるさとづくり大会
期 日 12月3日(日)
場 所 みくに市民センター みくに未来ホール
内 容 坂井市市民運動実践者表彰
生涯学習講座

【事業の成果と改善点等】

花壇コンクールでは、福井しあわせ元気国体の花でのおもてなしに向け、平成27年度から各団体が30年の国体日程に合わせ花の育成を調整できるよう審査日程を1か月遅らせ開催している。坂井市民運動推進協議会による「坂井市ふるさとづくり大会」を開催し、より一層豊かで明るく、住みたくなるまちづくりを目指して市民運動への意識向上と推進を図った。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 04 国際交流推進費	決 算 書
大事業	001 国際交流推進事業			P. 205
中事業	01 国際交流推進事業			教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初補1号	決 算 額	不 用 額	
	13,381 千円	12,067 千円	1,314 千円	
前年度	11,370 千円	9,679 千円	1,691 千円	
主な	国庫支出金	地方創生推進交付金	2,142 千円	
特定	諸収入	雑入(海外派遣事業参加者負担金)	5,400 千円	
財源	諸収入	雑入(海外派遣事業参加者負担金)	400 千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
市内中学校の生徒を英国に派遣するとともに、英国生徒を坂井市に招へいし、ホームステイや授業参加を通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。
また、新たに中学1年生を対象とする英国派遣団の事前研修への体験参加を通し、本事業の活動について理解を深める。

【事業の概要】

- 〈招へい期間〉平成29年6月28日(水)～7月6日(木) 9日間
- 〈招へい人数〉生徒 25人(男子13人、女子12人) 引率者 6人
(カントニアハイスクールおよびプラスマウルコソプリハンシブスクール)
- 〈派遣期間〉平成30年3月8日(木)～17日(土) 10日間
- 〈派遣先〉英国ウエールズ カードیف市
(バース、オックスフォードおよびロンドン)
- 〈派遣人数〉生徒27人(男子10人、女子17人) 引率者5人
(市内在住で市内中学校の2年生に在学する生徒)

- ・英国派遣団事前研修体験参加
(参加人数) 市内中学校の1年生27名(男子12人、女子15人)

○報償費

- 協力者謝礼 178千円
- 委員謝礼(派遣団員選考委員3名) 51千円
- 指導謝礼(事前研修講師18名) 50千円
- 出演者謝礼(招聘交流会時) 72千円
- 出演者謝礼(5名) 5千円
- 旅費 引率者旅費(5名) 183千円
- 需用費 262千円
- 消耗品費 246千円
- 食糧費 17千円
- 印刷製本費

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 04 国際交流推進費	決 算 書
大事業	001 国際交流推進事業			P. 205
中事業	01 国際交流推進事業			教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

…【前頁より】

- 役務費 3千円
- 委託料 11,120千円
- 事業運営委託料(招へい、派遣) 10,881千円
- 樹木等管理委託料 239千円

○使用料及び賃借料 (事前研修時寝具借上料) 58千円

【事業の成果と改善点等】
英国招へいに関しては、坂井・三国中学校での趣向を凝らした交流会や授業参加、またホストファミリーを中心とした異文化体験を通じて、国際理解教育を進めることができ、今後のさらなる健康確認を徹底していききたい。
英国派遣に関しては、派遣までの約半年間、ホームステイ体験や日本文化紹介に向けた事前研修を行い、英語でのコミュニケーション能力の向上に努めた。現地のホームステイ・授業参加等を通じ、現地英国生徒と交流を深めるとともに、派遣団としての仲間意識を醸成できた。
英国派遣団事前研修体験参加に関しては、初めての試みであったが、英国派遣に関心のある中学1年生の参加が大半で、先輩派遣団員の研修の様子に興味深く見学したり、実際の英会話研修に参加しながら理解を深めていた。今後は予想参加人数を超える応募があった場合の人数制限について検討が必要である。

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	001 青少年健全育成事業				決算書 P. 205
中事業	01 子ども会育成事業				教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額		
	2,142 千円	2,138 千円	4 千円		
前年度	2,141 千円	2,139 千円	2 千円		
主な 特定 財源			千円 千円 千円		
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】
 幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を行う。

【事業の概要】
 ○負担金
 福井県子ども会育成連合会負担金 64千円
 坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金 90千円
 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金 1,984千円

ジュニアリーダー活動日数(重複含む)

依 頼	平成29年度
例 会	58日
自主企画	101日
研 修	6日
合 計	5日
	170日

【事業の成果と改善点等】
 青少年のリーダーとなる人材の育成を行うことを目的に、坂井市子ども会育成連絡協議会を事業主体として、子ども会活動の支援や組織の育成を図った。今後も継続して研修を行い、子ども会活動の活性化を推進していく。また、昨年度立ち上げた、子ども会の役員総務で構成する『組織運営部会』のほか、『育成指導部会』『総務広報部会』の3部会の活性化を図り、今後の子ども会活動を盛り立てていくような組織づくりに取り組んだ。

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	001 青少年健全育成事業				決算書 P. 205
中事業	06 成人式事業				教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額		
	1,416 千円	1,359 千円	57 千円		
前年度	1,419 千円	1,323 千円	96 千円		
主な 特定 財源			千円 千円 千円		
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】
 新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

【事業の概要】
 〈期 日〉 平成30年1月7日(日) 午後1時30分～
 〈会 場〉 ハートピア春江
 〈対象者〉 新成人1,109人
 〈参加者〉 新成人876名(男性444人、女性432人 出席率78.99%)

○報償費
 成人式実行委員等謝礼(16名) 80千円
 成人式協力者謝礼 30千円
 記念品等(アールバム) 764千円

○需用費
 消耗品費 81千円
 食糧費 38千円
 印刷製本費 46千円
 通信運搬費
 使用料及び賃借料 会場使用料

○役員費 186千円
 ○使用料及び賃借料 134千円

【事業の成果と改善点等】
 参加した新成人一人ひとりが成人したことを自覚するとともに、今回のテーマである「縁〜共につなぐ未来〜」に込めた、「同じ郷土で育った縁を大切に、これまでの縁・これからの縁を大切に、ともに未来に向けて歩んでいこう」という決意を新たにすまっかけとなった。

【事業の実績等】

成人式出席率	平成29年度	平成28年度
	79.0%	80.9%

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費	決 算 書
大事業	001 青少年健全育成事業			P. 205
中事業	11 わんぱく少年団事業			教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	529 千円	416 千円	113 千円	
前年度	385 千円	318 千円	67 千円	
主な	雑入(わんぱく少年団参加者負担金)		63 千円	
特定			千円	
財源			千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけるとを目的とする。

【事業の概要】

「2017 SAKAHAWANぱく少年団」
坂井市内小学校5・6年生21人
学校週休日・夏休み(5月～3月)
13回
結団式、磯観察会、古代人体験、サマーキャンプ、
どろどろ遊園地、ウォークラリー、ジュニアリーダー企画、
トレッキング、ハロウィン体験、ディスクゴルフ、
スノーボードづくり、ウインターキャンプ、修了式

○報償費	協力者謝礼(トレッキング講師)	30千円
○需用費		263千円
	消耗品費	65千円
	食糧費	198千円
○役務費	傷害保険料	17千円
○使用料	施設使用料	106千円
	体験学習使用料	51千円
		55千円

【事業の成果と改善点等】

坂井市の豊かな自然を、あらゆる体験活動を通して触れ合うことで、子どもたちのふるさと坂井市を大切に、健康やかな心身を育むことができた。今年度は、前回よりも実施回数を増やし、計13回の自然体験活動を企画・実施した。今後も、子どもたちが参加できるよう実施時期の調整や参加したくなるような魅力ある活動の実施に努めていく。さらに、この事業にジュニアリーダーが関わることとなったことで、新たにジュニアリーダー活動に加わる団員もおり、ジュニアリーダーのメンバーの確保にも繋がった。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費	決 算 書
大事業	001 青少年健全育成事業			P. 207
中事業	16 青少年育成坂井市民会議事業			教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	補5号	決 算 額	不 用 額
	5,926 千円		5,582 千円	344 千円
前年度	3,126 千円		3,126 千円	0 千円
主な	繰入金	寄附市民参画基金繰入金		3,456 千円
特定				千円
財源				千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

青少年問題のもつ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】

期 日	事 業 名	場 所
5月22日(月)	青少年育成坂井市民会議総会	たかむく古城ホール
7月8日(土)	非行防止一斉キャンペーン	春江アミ、三国イーザ
9月27日(水)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～29日(金)	丸岡中学校
10月11日(水)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～12日(木)	丸岡南中学校
10月18日(水)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～19日(木)	三国中学校
11月11日(土)	一斉街頭啓発キャンペーン	丸岡ピアス、坂井プラザ2
12月10日(日)	坂井市青少年健全育成推進大会	みくに未来ホール
12月10日(日)	「心の教育講演会」	みくに未来ホール

○需用費	消耗品費(見守り隊 活動服)	3,456千円
○補助金	青少年育成坂井市民会議運営補助金	2,126千円

【事業の成果と改善点等】

青少年が健全に成長していくための環境づくりや、青少年の健全な心を育てることに貢献することができた。また、青少年育成活動への参加促進の支援を目的とした、命の教育「赤ちゃん抱っこ体験学習」を新たに一校増やして今年度は3校で実施した。坂井市寄附市民参画基金による「協働のまちづくりに関する事業」として、市内の子ども「見守り隊」の活動服を作成した。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費	決 算 書
大事業	001 青少年健全育成事業	P. 207		
中事業	21 放課後子ども教室推進事業	所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	4,000 千円	3,971 千円	29 千円	
主な	4,000 千円	3,976 千円	24 千円	
特定	原支出金	放課後子どもプラザ事業補助金	2,427 千円	
財源			千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
コミュニティセンター等で、様々な放課後子ども教室を実施し、子どもたちに安全な居場所や学習・体験活動の機会を提供する。

【事業の概要】

主にコミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施。各地域の実情に合わせたながら、書画や絵画、読書感想文教室など長期休暇の恒例を中心とした教室を開催したり、生け花教室、三味線教室、コーラス教室など定期的に教室を開催したりするなど、子ども達の安全な居場所の確保に努めた。

○委託料

放課後子ども教室実施委託料
(24教室)

3,971 千円

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費	決 算 書
大事業	001 青少年健全育成事業	P. 207		
中事業	26 台宿通学事業	所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	1,650 千円	1,365 千円	285 千円	
主な	1,600 千円	986 千円	614 千円	
特定	国庫支出金	地方創生推進交付金	635 千円	
財源			千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
コミュニティセンター等の公共施設に3泊4日（または2泊3日）で宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分で行いながら学校に通学することにより、日常生活における家族の苦労や、愛情の深さに気づき、感謝する気持ちを育てる。

【事業の概要】

期 間	場 所	対象者	参加人数
6月 8日(木)～10日(土)	ちくちくほんぼん 兵庫小学校	4年生	29名
9月 28日(木)～30日(土)	ちくちくほんぼん 高槻小学校	4年生	48名
10月 5日(木)～7日(土)	春江中コミセン 春江小学校	4年生	61名
11月 8日(水)～11日(土)	三國コミセン 三國北小学校	6年生	40名
合 計			178名

○委託料

台宿通学事業業務委託料

1,365 千円

【事業の成果と改善点等】

地域のボランティアの協力を得て、地域の実情に応じた様々な体験・活動を行うことにより、安全・安心な子ども活動拠点を設けることができた。今後は、家庭教育支援チームとも連携しながら、更に活動の幅を広げていきたい。

【事業の成果と改善点等】

家庭を離れて、長期間の宿泊を伴う日常生活体験は、学校教育では得られない大変貴重な体験であり、事業目的に沿った効果も得られている。また、地域の方がボランティアとして関わること、地域の教育力の醸成にも繋がっている。今回、新たに「ちくちくほんぼん」での実施を試みたが、竹田での特色ある活動が出来た一方で、地理的な面での登下校にかかる時間や、施設的な面での調理活動に制約があった。今後は、従来のコミュニティセンターでの実績等を踏まえ、より良い事業実施に向けて内容を検討していきたい。

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	001 青少年健全育成事業				決算書 P. 207
中事業	31 坂井・延岡ジュニア交流事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決算額	不用額		
前年度	1,572 千円	1,314 千円	258 千円		
主な 特定 財源	国庫支出金 地方創生推進交付金 雑入(坂井・延岡ジュニア交流事業参加者負担金)	495 千円	35 千円 406 千円 500 千円		
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】
宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を学習することを通じて人的交流を図っていく中で、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

【事業の概要】
1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度は延岡市を訪問し、延岡市の小学生と交流を行った。

〈期 間〉 平成29年8月21日(月)～23日(水) 3日間
 〈参加者〉 坂井市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局2名
 延岡市内小学5・6年生 15名、市P連2名、事務局4名

○報償費 協力者謝礼 19千円
 ○需用費 消耗品費 47千円
 ○役務費 返信用切手 2千円
 ○委託料 事業運営委託料 1,246千円

【事業の成果と改善点等】
今年度は延岡市へ訪問する前に、事前研修を実施し交流に臨んだことで、市内の児童同士での回結が芽生え、延岡市児童に対し積極的に関わる様子がみられた。別れの際には手紙のやり取りを約束するなど、子どもたちの中では確かに交流が続いている様子を感じ取ることができた。延岡市側の児童が少なかつたため、招へい年において魅力的な交流内容とし、次年度の参加につながる工夫をしていきたい。

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	051 心の家庭教育支援事業				決算書 P. 207
中事業	01 心の家庭教育支援事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決算額	不用額		
前年度	1,410 千円	1,198 千円	212 千円		
主な 特定 財源		1,076 千円	280 千円		
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】
家庭の教育力の向上を図るため、現在子育て中の親が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。

【事業の概要】
・子育て講座
小学校を中心に多くの親が集まる機会(就学時健診時等)を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。(2校)
・家庭教育支援チーム
元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、小学生などの子どもを持つ親(家庭)の心の教育と支援を行った。

・広報誌の発行
子育てに関する情報やアドバイスなどを掲載した広報誌「ほやほや」を年5回発行した。

○報償費 子育て講座講師謝礼 1,107千円
 家庭教育支援チーム手当(33名) 20千円
 ○需用費 家庭教師謝礼 1,087千円
 消耗品費 65千円
 食糧費 59千円
 6千円

○役務費 家庭教育支援チーム員労務保険料 26千円

【事業の成果と改善点等】
各地区ごとに家庭教育支援チームが実施する市内小学校への訪問は、子どもたちとの信頼関係も確立しつつあり、支援チームの訪問を心待ちにしている児童も数多くいる。また、子育て講演会に関しては、2回行い、受講者の満足度も高かった。コミュニティセンターや学校行事に併せた相談会なども実施し、子育てに関するアドバイスなど支援に取り組んだ。今後も、子どもたちの成長の支えとなれるよう、積極的に活動を進めていきたい。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 06 青少年愛護センター費	決 算 書 P. 207
大事業	001 愛護センター事業			
中事業	01 愛護センター事業			
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	11,376 千円	9,768 千円	1,608 千円	
主な 特定 財源	原支出金 11,678 千円	青少年愛護センター運営費補助金 10,863 千円	815 千円	
			383 千円	
			千円	
			千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】
 青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を防止することによって、青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】

- 賞金 7,211千円
- 報償費 1,116千円
- 需用費 804千円
- 燃料費 243千円
- 食糧費 319千円
- 印刷製本費 49千円
- 修繕料 70千円
- 役務費 123千円
- 通信運搬費 131千円
- 手数料 29千円
- 自動車保険料 54千円
- 委託料 239千円
- インゼルロード警備保障委託 188千円
- コピー機保守点検委託 51千円
- 使用料及び賃借料 162千円
- コピー機リース料等 123千円
- 電話賃借料 32千円
- 有料道路通行料 7千円
- 負担金 14千円
- 公課費 8千円

愛護センター職員賃金(4名) 7,211千円
 一般補導員手当(延べ1,240名) 1,116千円
 243千円
 319千円
 49千円
 70千円
 123千円
 131千円
 29千円
 54千円
 239千円
 188千円
 51千円
 162千円
 123千円
 32千円
 7千円
 14千円
 8千円

【事業の成果と改善点等】
 今年度も一般補導員との協働により各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後もさらに各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていく。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費	決 算 書 P. 219
大事業	051 スポーツ推進委員運営事業			
中事業	01 スポーツ推進委員運営事業			
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	2,275 千円	1,913 千円	362 千円	
主な 特定 財源	諸収入 2,834 千円	雑入(大会参加料) 2,689 千円	145 千円	
			63 千円	
			10 千円	
			千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】
 スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を図る。市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたって継続して行なうことが出来るようサポートする。

【事業の概要】
 地域のスポーツの推進役として地域住民のスポーツニーズを把握し必要な取り組みを行なった。また、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたって継続して行なうことが出来るようサポートした。

- ・派遣指導(マリン体操の普及推進、出前二ニュースポーツ講座)23回/年
- ・ニュースポーツ教室 年16回/延べ431人
- ・ニュースポーツ大会 23人
- ・坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他
- ・全体会2回、部会等21回、委員研修3回
- 報酬 1,408千円
- 旅費 188千円
- 需用費
- 役務費
- 使用料及び賃借料
- 負担金

各種大会への協力
 会議等の開催
 スポーツ推進員報酬(32千円×44人)
 全国スポーツ推進委員研究協議会(茨城県つくば市)
 北陸地区スポーツ推進委員研修会(富山県射水市)
 定期刊行物購読料・啓発用消耗品費
 備書保険料
 53千円
 80千円
 7千円
 177千円
 16千円
 161千円

【事業の成果と改善点等】
 ニュースポーツ教室・ウオークラリー大会の企画運営をはじめ、市古城マラソン・市民スポーツ祭への協力、マリン体操の普及など、市民のスポーツによる健康づくりに貢献できた。特に、平成30年に開催される福井国体のエモスポ競技であるドッチボールの普及・指導に力を入れた。

予算款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費
大事業	101 保健体育事業		決算書 P. 219
中事業	01 保健体育事務事業		所管 部局 体育局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初 補1号	決 算 額	不 用 額
前年度	551 千円	493 千円	58 千円
主な 特定 財源	2,551 千円 オリンピック東京大会事前キャンプ誘致広報事業補助金	2,385 千円	166 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の概要】
スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。スポーツ振興審議会では、スポーツ推進に関する重要事項について調査及び審議を適して建議を行う。
また、各種協議会に対し負担金助成を行う。

【事業の概要】

- 旅費 特別旅費 (東京オリンピック事前キャンプ誘致活動) 92千円
- 需用費 印刷製本費 (東京オリンピック事前キャンプ誘致パンフレット) 298千円
- 負担金 県公立武道館協議会負担金 103千円
海外援助車輸陸送負担金 4千円
体育施設協会負担金 95千円
4千円

【事業の成果と改善点等】
スポーツ振興計画に基づき、保健体育事務事業を実施した。
スポーツ振興審議会において、スポーツ振興計画の見直しを行う予定であったが、教育振興基本計画が延長されたことにより開催を見送った。2020年に開催される東京オリンピックの事前キャンプ誘致を自覚した日本語・英語・スペイン語に対応した市独自の誘致パンフレットを作成し、過去に事前キャンプの実績のあるバレー共和国大使館をはじめ、各関係機関に配布した。今後も誘致に向けて積極的に取り組んでいきたい。

予算款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費
大事業	151 国体推進事業		決算書 P. 219
中事業	01 国体推進事業		所管 部局 体育局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	33,401 千円	31,406 千円	1,995 千円
主な 特定 財源	1,392,685 千円 スポーツ振興くじ助成金	1,392,658 千円	27 千円
予算流用(増減)額		△ 899 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
平成30年に福井県で開催される福井しあわせ元気国体において、坂井市では、サッカー競技とバレーボール競技が開催されるが、本市を訪れる選手・役員をはじめ応援観戦される人々が十分満足する魅力ある大会となるよう、開催準備を円滑に進める。

【事業の概要】

- 体育施設整備工事費 9,023千円
- 丸岡スポーツランドサッカー場電光掲示板設置工事 8,834千円
- 高松小学校体育館バレーボール床金具改修工事 189千円
- 施設用備品購入費。 22,383千円
- バレーボール競技備品購入(バレーボール用支柱他) 3,281千円
- サッカー競技備品購入(スコアボード他) 19,102千円

【事業の成果と改善点等】
福井しあわせ元気国体のサッカー競技会場となる丸岡スポーツランドサッカー場にデジタル得点板を設置した。また、各競技施設で必要となる備品の購入を進め、来年度の国体に向けた準備を整えた。今後はプレ大会等で確認された不具合の修正や不足備品を購入し、万全の状態で国体を迎えたい。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 219	
中事業	01	スポーツ大会運営事業		所管			部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初	決算額						不 用 額	
前年度	5,711千円	5,361千円						350千円	
主な 特定 財源	9,611千円	9,313千円						298千円	
	原支出金	わがまち健康づくり応援事業補助金						14千円	
								千円	
								千円	
予算流用(増減)額	0千円		予備費充用額		0千円				

【事業の目的】
誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しむよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】
坂井市古城マラソン大会
6月4日(日)
ケストランナー 高橋 千恵美
参加者数 3,438人
坂井市民スポーツ祭
10月9日(月・祝)
参加者数 3,614人
スポーツフェスタ・各競技大会・教室

○需用費
 消耗品費 106千円
 食糧費 63千円
 ○役員費 63千円
 傷害保険料 43千円
 ○委託料 57千円
 スポーツ大会委託料 4,800千円
 坂井市民スポーツ祭
 (公助)坂井市体育協会 2,300千円
 坂井市古城マラソン大会
 (公助)坂井市体育協会 2,500千円
 ○補助金 398千円
 坂井市古城カップサッカー大会補助金 298千円
 坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金 100千円

【事業の成果と改善点等】
各種大会を開催し、スポーツの振興を図ることができた。市民スポーツ祭については種目競技大会だけでなく、交流を深める場や教室・体験型イベントを実施し市民のスポーツの普及や健康増進を図った。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 221	
中事業	06	スポーツ振興事業		所管			部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初	決算額						不 用 額	
前年度	37,086千円	37,085千円						1千円	
主な 特定 財源	36,093千円	36,022千円						71千円	
								千円	
								千円	
予算流用(増減)額	998千円		予備費充用額		1,000千円				

【事業の目的】
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。

【事業の概要】
○報償費
 全国スポーツ大会出場激励金 3,999千円
 ・団体 41名
 ・全国高等学校総合体育大会 76名
 ・国際大会 14名
 ・その他全国大会 293名
 計 424名 (78大会)

○需用費
 消耗品費 8千円
 ○委託料 98千円
 看板製作委託料 1,200千円
 ○負担金 31,780千円
 クロカンマラソン大会負担金
 ○補助金 26,780千円
 坂井市体育協会補助金 4,000千円
 坂井市スポーツ少年団補助金 1,000千円
 地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金

【事業の成果と改善点等】
各スポーツ振興団体の活動計画に沿った事業を実施した。国際大会、全国大会に出場する選手・監督に対し、激励金を交付し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができた。補助金交付については今後も効果的に効果のある団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。

予算款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 03 体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業	決算書 P. 221 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
中事業	01	体育施設管理事業	所管 部局
予算額	当初 補7号	決算額	不用額
	509,278 千円	446,018 千円	63,260 千円
前年度	681,983 千円	677,274 千円	4,709 千円
主な市債	合併特例事業債		76,200 千円
特定諸収入	体育施設整備事業補償費		94,996 千円
財源使用料	学校体育施設使用料		2,014 千円
予算流用(増減)額	△ 99 千円	予備費充用額	0 千円
【上記決算額内訳】			
当該年度分	予算額	決算額	446,018 千円
翌年度への繰越額	509,278 千円	62,082 千円	

【事業の目的】
スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理及び運営を促進し、施設の安全性の確保とスポーツ振興及び利用の推進を図る。

【事業の概要】

◆体育施設維持管理事業

- 旅費 88千円
- 需用費 199千円
- 役務費 720千円
- 委託料 229,329千円
- 学校開放事業等委託料 (公助)坂井市体育協会) 7,000千円
- 坂井市体育施設指定管理委託料 (公助)坂井市体育協会) 179,829千円
- 坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター指定管理委託料 (アクアスポーツ) 42,500千円
- 使用料及び賃借料 29,252千円
- 土地借上料 29,245千円
- 有料道路通行料 7千円
- 丸岡フィットネスセンター更衣室ロッカー購入 1,393千円
- 負担金 9,431千円
- ・指定管理者修繕料負担金 9,411千円
- 丸岡スポーツランド落雷修繕 2,953千円
- 丸岡B&G海洋センター屋根修繕 550千円
- 三国運動公園屋内温水プールヒーター修繕 2,408千円
- 丸岡体育館西側トイレ修繕 3,500千円
- ・B&G地域海洋センター連絡協議会負担金 20千円

[次頁へ]

予算款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 03 体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業	決算書 P. 221 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
中事業	01	体育施設管理事業	所管 部局

… [前頁より]

○補償、補填及び賠償金 体育施設周辺補償費 252千円

◆体育施設整備事業

- 需用費 44千円
- 工事請負費 50,566千円
- 公有財産購入費 38,784千円
- 補償、補填及び賠償金 85,960千円
- 消耗品費
- 丸岡スポーツランド駐車場整備工事
- 丸岡スポーツランド駐車場整備に係る土地購入
- 丸岡スポーツランド駐車場整備に係る移転補償

【事業の成果と改善点等】

各体育施設について、適時修繕を行うなど適正な維持管理に努め、利用者満足度の向上に努めた。また、体育施設の老朽化に伴い施設の統廃合を含めた整備の検討が必要である。丸岡スポーツランド駐車場整備については、土地購入費・建物工作物等移転補償について、既存建物の取り壊しが完了しなかつたため、翌年度へ繰り越しとした。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費	
大事業	151 国体推進事業		決 算 書 P. 219	
中事業	01 国体推進事業		所管 部局	教育委員会事務局 国体推進課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	108,184 千円	108,058 千円	126 千円	
前年度	27,839 千円	27,490 千円	349 千円	
主な 特定 財源	県支出金 県支出金	福井しあわせ元気国体競技別ブレ大会補助金 わがまち健康づくり応援事業補助金	19,336 千円 124 千円	
予算流用(増減)額		14 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の概要】
 平成30年開催の福井しあわせ元気国体に向け、機運醸成を図ると共に平成29年開催のブレ大会において全ての検証を行い、平成30年開催の本大会が円滑に運営できるように実行委員会、専門委員会、部会等において協議し万全な体制に向けた準備を行う。

【事業の概要】

- ◆ 国体推進事業
 - 賞金 (臨時職員賞金 3人) 7,001千円
 - 需用費 (消耗品費) 10千円
 - 役員費 (通信運搬費) 224千円
 - 委託料 (コピー機保守点検委託料) 325千円
 - 使用料及び賃借料 (パソコン賃借料) 498千円
 - 負担金 100,000千円
- 福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会負担金
 - 総務費
 - ・ 委員会費 (総会、常任委員会、専門委員会等の経費)
 - ・ 事務回費 (事務用品、ポランティア等通信費、被服費等)
 - 開催準備費
 - ・ 事業促進費 (愛媛国体視察研修、ポランティア活動経費等)
 - ・ 広報啓発費 (広報経費、300日前イベント、花いっぱい運動等啓発事業経費)
 - ・ プレ大会運営費 (全国社会人サッカー、中部日本バレーボール、テモスボ運営費)

【事業の成果と改善点等】

福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会を基に福井国体坂井市開催競技のブレ大会を開催し、本大会に向け競技会役員、ポランティア等の配置計画等を検証した。また、坂井市の機運醸成を図るため市民運動事業や300日前イベント等を開催する事で、多くの市民の参加と坂井市開催競技の競技力向上、普及に寄与した。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 03 体育施設費	
大事業	001 体育施設管理事業		決 算 書 P. 221	
中事業	01 体育施設管理事業		所管 部局	教育委員会事務局 国体推進課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	21,779 千円	20,519 千円	1,260 千円	
前年度	14,806 千円	12,848 千円	1,958 千円	
主な 特定 財源	使用料 雑入 (三国運動公園施設指定管理者納付金) 雑入 (自動販売機使用料)	健康管理センター使用料 雑入 (三国運動公園施設指定管理者納付金) 雑入 (自動販売機使用料)	320 千円 11,010 千円 153 千円	
予算流用(増減)額		△ 14 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
 高齢福祉事業、子育て支援事業、保健センター事業を行う機能を有した三国運動公園健康管理センターの維持管理業務を他課と連携して行う。

【事業の概要】

- ◆ 三国運動公園健康管理センター管理運営事業
 - 需用費
 - 消耗品費 117千円
 - 燃料費 709千円
 - 光熱水費 13,353千円
 - 修繕料 881千円
 - 役員費
 - 手数料 146千円
 - 火災保険料 15千円
 - 委託料
 - エレベーター保守点検 518千円
 - 消防設備保守点検 108千円
 - 清掃委託 2,787千円
 - 電気工作物保守点検 166千円
 - ポイラー保守点検 194千円
 - その他 163千円
 - 使用料及び賃借料 (さかいCATV使用料・NHK受信料) 66千円
 - 備品購入費 (会議用長机) 1,296千円

【事業の成果と改善点等】

4月に高齢福祉事業に子育て支援事業、保健センター事業を加えリニューアルオープンした三国運動公園健康管理センターの維持管理において新たな機能を加えたことで使用者数が前回までの約3倍となる年間33,507人の利用を得た。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	001 文化振興事業		決 算 書 P. 209
中事業	01 文化振興事業		所管 部局 教育局 課 文化課
予算額	当初 補8号	決 算 額	不 用 額
前年度	6,285 千円	5,445 千円	840 千円
主 体	使用料		
特 定	1,375 千円	1,311 千円	53 千円
財 源	春江陶芸工房使用料		千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
文化芸術分野の全国大会以上に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに、文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。

【事業の概要】
○報償費
全国大会等出場激励金 319千円
協力者謝礼(視察研修) 310千円
9千円

○需用費
消耗品費(事務用品) 3千円
食糧費(会議用お茶) 4千円
光熱水費(春江陶芸工房:電気料) 173千円
修繕料(青空ギャラリー-作品看板修繕) 420千円
○役員費 春江陶芸工房火災保険料 5千円
○委託料 旅行業務委託料(文化未来会議視察研修) 350千円
○工事請負費 建物解体工事費(春江陶芸工房) 896千円
○備品購入費 展示用備品購入費(文化祭展示用パネル他) 3,275千円

【事業の成果と改善点等】
本年より激励金支給対象者を国際規模の大会まで拡大し、合計50名(全国大会46名・国際大会4名)の出場者に激励金を贈り、大会での活躍を激励した。坂井市文化未来会議では、富山県八尾町及び南砺市視察を実施し、歴史的遺産を活用した地域活性化施策や保存への取り組みを先進地に学んだ。(会議3回・研修1回)
視察研修:9月3日~4日実施 八尾町から風の盆、南砺市(城端~五箇山地区)

【事業の実績等】

指標名	平成29年度	平成28年度
全国大会等出場者数	50人	36人

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	001 文化振興事業		決 算 書 P. 209
中事業	06 文化団体補助事業		所管 部局 教育局 課 文化課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	45,622 千円	44,788 千円	834 千円
主 体		29,863 千円	0 千円
特 定			千円
財 源			千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、(公財)丸岡文化財団及び坂井市文化協会の実施する文化活動事業を支援する。

【事業の概要】
○補助金
丸岡文化財団運営補助金 44,788千円
坂井市文化協会事業補助金 42,692千円
2,096千円

【事業の成果と改善点等】
丸岡文化財団が主催する一筆啓上賞は、節目となる25回目を迎えたことを機に、さらなる手紙文化の継承を図っていく。また、おかし子歌無伴奏においては、役者募集から稽古、本番まで地域との連携のなかで個性豊かな伝統芸能の継承を図っていく。坂井市文化協会は、総合美術展や子ども文化祭を開催するなかで、大人から子どもまで幅広く文化活動に参加できる企画運営を担い、市の文化振興に大いに貢献している。引き続き、自己の研鑽と次世代育成・継承に努めていく。

【事業の実績等】

指標名	平成29年度	平成28年度
文化協会員数	2,339人	2,588人
文化協会活動事業数	86事業	81事業
一筆啓上賞応募数	38,182通	44,348通

まるおかし子供歌舞伎 11月25日公演(参加児童13人・観客900人)
かまぼこ坂の絵とのコラボ展 延べ60日間開催
【場所:西武福井店・エンゼルランド・若狭図書館学習センター】

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	001 文化振興事業		決 算 書 P. 209
中事業	11 文化活動支援事業		所管 教育委員会事務局 部局 文化課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
	40,200 千円	39,797 千円	403 千円
前年度	39,200 千円	39,198 千円	2 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。

【事業の概要】
○委託料
文化祭業務委託料（坂井市民文化祭実行委員会） 39,797千円
公演業務委託料（公財）坂井市文化振興事業団：23事業） 34,000千円
市民文化創造企画支援事業委託料（公財）坂井市文化振興事業団） 800千円

【事業の成果と改善点等】
公演事業では、音楽、古典芸能、演劇など様々なジャンルから事業を企画するとともに、地元出身の若手音楽家によるコンクールを実施するなど市民参加・育成型事業にも取り組んでいる。文化祭事業は実行委員会に委託し、11月の坂井市みくに市民センター開館に併せて開会式を行い、新しいホールの開館記念に芸能発表で華を添えた。今後も、市民の文化活動の発展につながる事業として、市民文化祭の活性化を図っていく。

【事業の実績等】

指標名	平成29年度	平成28年度
公演事業入場率 (入場者数/認定座数)	80.8%	66.5%
文化祭来場者数	10,257人	12,098人

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	001 文化振興事業		決 算 書 P. 209
中事業	21 一筆啓上手紙の館管理運営事業		所管 教育委員会事務局 部局 文化課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
	14,200 千円	13,596 千円	604 千円
前年度	23,826 千円	21,709 千円	2,117 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
「手紙の館」の管理運営を担う（公財）丸岡文化財団は、一筆啓上賞の作品を始めとす手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光の充実を図る。

【事業の概要】
○報償費 45千円
○役員費 108千円
○委託料 13,443千円
運営審議会委員謝礼（3名）
手紙の館火災保険料
事業運営委託料（丸岡文化財団）

【事業の成果と改善点等】
丸岡文化財団に「手紙の館」の事業運営を委託し、一筆啓上賞の作品や手紙をテーマにした企画展等を実施した。29年度から丸岡城との共通入場券を導入するなど入館者増に取組んでおり、今後も施設の運営状況に対して運営審議会で検討を行いながら、丸岡城と連携した地域のにぎわい創出を図っていく。

【事業の実績等】

指標名	平成29年度	平成28年度
手紙の館入館者 (共通入場券入館者)	47,027人 (36,700人)	21,394人

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	051 文化施設管理運営事業		決算書 P. 209
中事業	02 文化の森・文化未来館管理運営事業		所管 部局
予算額	当初 補1号 補2号	決 算 額	不 用 額
前年度	120,207 千円	116,018 千円	4,189 千円
主な 特定 財源	121,253 千円 雑入(指定管理者修繕負担金他)	121,098 千円	155 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化活動の振興と、文化的資質の向上を図る。

【事業の概要】
◆文化の森・文化未来館管理運営事業 本庁 115,869千円

- 費用費
 - 消耗品費(大会行事用消耗品) 4,389千円
 - 印刷製本費(パンフレット・封筒印刷) 108千円
 - 修繕料(施設修繕料) 1,396千円
 - 2,885千円
 - 168千円
- 役務費
 - リサイクル手数料他 9千円
 - ハートピア春江・みくに文化未来館火災保険料 159千円
 - 107,492千円
- 委託料
 - みくに市民センター清掃委託料 1,868千円
 - みくに文化未来館備品配送委託料 621千円
 - 指定管理者委託料(公助)坂井市文化振興事業団 105,003千円
 - 使用料及び賃借料 文化の森敷地借上料(18,875㎡) 3,820千円

◆省エネ対策事業 本庁 149千円

- 使用料及び賃借料 テマンド監視システム使用料 149千円

【事業の成果と改善点等】
みくに文化未来館については、29年11月に文化ホール機能をみくに市民センターへ移転した。ハートピア春江についても、大規模改修を予定していることから、30年度に基本・実施設計業務を行う。今後も施設の適正な維持管理を行い、市民の文化芸術活動の拠点として、それぞれの特性を活かしながら市民の文化の向上を目指した運営を推進する。

【事業の実績等】

指標名	平成29年度	平成28年度
ハートピア春江入館者	108,810人	113,573人
みくに文化未来館入館者	18,844人	146,597人
みくに市民センター入館者	12,805人	

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	051 文化施設管理運営事業		決算書 P. 209
中事業	21 みくに龍翔館管理運営事業		所管 部局
予算額	当初 補2号	決 算 額	不 用 額
前年度	34,292 千円	33,154 千円	1,138 千円
主な 特定 財源	46,163 千円 みくに龍翔館入館料他 雑入(即誌等頒布代他)	43,750 千円	2,413 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
坂井市の歴史についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化的遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管する。

【事業の概要】
◆みくに龍翔館管理運営事業 本庁 30,617千円

- 賞金 6,896千円
- 報償費 601千円
- 需用費 8,842千円
- 消耗品費(事務用消耗品・新聞代等) 482千円
- 燃料費(重油・ガソリン・LPGガス) 2,375千円
- 食糧費(会議用賄他) 13千円
- 印刷製本費(パンフレット・資料等印刷) 294千円
- 光熱水費(電気・水道料) 3,989千円
- 修繕料(非常用自家発電設備修繕他) 1,689千円
- 役務費 661千円
- 通信運搬費(郵便料・電話料) 293千円
- 手数料(リサイクル手数料・入館者斡旋手数料等) 119千円
- 保険料(火災、自動車、展示・収蔵資料損害保険料等) 249千円
- 委託料 12,976千円
- 施設管理委託料(エレベーター・空調保守点検、警備他) 6,461千円
- 樹木等管理委託料 840千円
- 計画策定業務委託料 5,481千円
- 焼祭委託料 194千円

- 使用料及び賃借料 事務機器借上料・山車借上料等 334千円
- 備品購入費 施設用備品・展示用備品・図書購入 297千円
- 負担金 県博物館協議会等負担金他 10千円

【次頁へ】...

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費	決 算 書 P. 209 教育委員会事務局 みくに龍翔館
大事業	051 文化施設管理運営事業			
中事業	21 みくに龍翔館管理運営事業			
…【前頁より】				
◆みくに龍翔館展示事業 本庁 2,537千円				
○報償費 425千円				
○旅費 65千円				
○需用費 856千円				
消耗品費(大会・行事用消耗品費) 59千円				
印刷製本費(ポスター・パンフレット等印刷) 797千円				
○役務費 1,191千円				
【事業の成果と改善点等】				
施設の老朽化への対応と坂井市の総合博物館づくりを進めるため、リニューアル検討委員会においてリニューアル基本計画について検討を行った。				
白山開山1300年を記念し、特別展「豊原寺・東尋坊と白山へのまなざし」を開催。坂井市域に残る白山ゆかりの場所や歴史について、関連資料や美術品を展示・紹介した。				
南家文書(樺浦)約500点及び本多敏子家文書151点を専門家とともに整理・目録化を行う等、坂井市の資料収集・保存に努めた。				
【事業の実績等】				
○郷土史研究講座				
第1講 講題「白山の神と仏—國神社本白山參詣曼荼羅図より—」				
講師 河村健史氏 9月10日(日) 参加者74人				
第2講 講題「織田信長のプロフェーラー」				
講師 和田裕弘氏 3月10日(土) 参加者79人				
○春の企画展「「虹」物語と俳人森田愛子〜生誕百年に寄せて〜」				
4月1日(土)〜5月28日(日) 入館者数1,867人				
○夏の企画展「コンペ仲間とおもしろアート展」				
8月4日(金)〜9月3日(日) 入館者数1,307人				
○特別展「白山開山1300年記念 豊原寺・東尋坊と白山へのまなざし」				
10月28日(土)〜12月3日(日) 入館者数1,724人				
○資料発行				
特別展図録『豊原寺・東尋坊と白山へのまなざし』				
10月28日発行 64頁500冊				
『みくに龍翔館研究紀要 第12号』1月31日発行 58頁230冊				
○みくに龍翔館リニューアル検討委員会(9名)				
11月6日(月)、1月15日(月)、3月22日(木)開催				

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費	決 算 書 P. 211 教育委員会事務局 みくに龍翔館
大事業	051 文化施設管理運営事業			
中事業	26 ONOメモリアル管理運営事業			
予算額 当初				
			決 算 額	不 用 額
前年度 2,343 千円			2,155 千円	188 千円
主たる特定財源 3,413 千円			3,288 千円	125 千円
予算流用(増減)額			0 千円	予備費充用額 0 千円
【事業の目的】				
故小野忠弘氏の住宅兼アトリエの保存・活用を図るとともに、市民の現代美術に関する感性と創作意欲の向上に寄与する。				
【事業の概要】				
○報償費 97千円				
指導謝礼(ふるさと坂井絵画展他) 22千円				
賞品(ふるさと坂井絵画展) 75千円				
○需用費 540千円				
消耗品(施設管理消耗品・大会行事消耗品他) 37千円				
印刷製本費(賞状・ポスター・パンフレット印刷) 113千円				
光熱水費(電気料・水道料) 337千円				
修繕料(施設等修繕料) 53千円				
○役務費 79千円				
通信運搬料(電話料、切手代) 70千円				
火災保険料 9千円				
○委託料 1,439千円				
施設管理委託料(警備保障、清掃、樹木管理) 906千円				
イベント事業委託料他 533千円				
【事業の成果と改善点等】				
次年度開催予定の高校生現代アートビエンナーレにおいては、実行委員会を組織し、委員会を開催。作品展覧やチラシや募集要項について検討を行い作成した。現代美術における若い人材の発掘育成の契機とした。				
ONOメモリアル事業の充実を図るため、現代美術の企画・運営の方法について、検討が必要である。				
【事業の実績等】				
第11回「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」				
出品数：2,131点、会場 みくに龍翔館				
展示：入賞作品200点、9月24日(日)〜10月15日(日)				

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大事業	001 文化財保護審議会運営事業		決 算 書 P. 213 教育委員会事務局 文化課
中事業	01 文化財保護審議会運営事業		所管 部局
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	235 千円	189 千円	46 千円
主な 特定 財源	235 千円	187 千円	48 千円
予算流用(増減)額		1 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
新たな文化財の指定や解除に関する諮問や、市の文化財保護施策に関する諮議などを通して、文化財の保護を図る。

- 【事業の概要】
- 報酬 文化財保護審議会委員報酬 (8名) 184千円
 - 旅費 文化財保護審議会委員費用弁償 1千円
 - 需用費 食糧費 (文化財保護審議会お茶代) 4千円

【事業の成果と改善点等】
指定・登録文化財について候補の審議を引き続き行うほか、年間計画等についても助言をもらう。

【事業の実績等】

委員数	会議開催数
9名	4回 (現地調査1回含む)

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大事業	051 文化財保存事業		決 算 書 P. 213 教育委員会事務局 文化課
中事業	01 文化財保存管理事業		所管 部局
予算額	当初	補2号	決 算 額
前年度	8,029 千円	6,755 千円	1,274 千円
主な 特定 財源	4,901 千円	4,252 千円	649 千円
予算流用(増減)額		△ 63 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。

- 【事業の概要】
- ◆文化財保存管理事業 本庁 6,118千円
 - 報酬費 有識者謝礼 (市内指定文化財調査協力謝礼・執筆謝礼) 660千円
 - 旅費 文化財管理奨励金 140千円
 - 需用費 費用弁償、特別旅費 520千円
 - 役務費 消耗品費 (子ども向け体験学習等消耗品) 103千円
 - 食糧費 (子ども向け体験学習等材料) 20千円
 - 印刷製本費 (シンポジウム資料集・文化財冊子印刷) 327千円
 - 光熱水費 (出世山古墳公園等電気料・上下水道料) 93千円
 - 修繕料 (出世山古墳公園トイレ修繕) 92千円
 - カモシカ処理手数料 (5体) 84千円
 - 丸岡城関連施設・出世山古墳公園火災保険料 72千円
 - 委託料 文化財管理委託料 (古墳公園等清掃、草刈など) 12千円
 - 文化財管理委託料 (丸岡歴史民俗資料館) 2,099千円
 - 文化財管理委託料 (丸岡歴史民俗資料館) 1,613千円
 - 使用料及び賃借料 486千円
 - 出世山古墳公園、銅鐸出土記念碑敷地借上料 213千円
 - 画像編集用/パソコンリース賃借料 146千円
 - 工事請負費 文化財看板設置工事 (三国神社外2件) 67千円
 - 原材料費 鋳造体験用原材料 455千円
 - 備品購入費 教材用備品購入費 (鋳造体験用シリコン型) 24千円
 - 負担金 全史協北信越地区協議会負担金外3件 65千円
 - 89千円

【次頁へ】...

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大 事 業	051 文化財保存事業		決 算 書 P. 213 所管 教育局 部局 教育委員会事務局 文化課
中 事 業	01 文化財保存管理事業		

…【前頁より】

- 補助金
 - 市指定無形文化財保存活動事業費補助金 1,503千円
 - 指定文化財保存事業費補助金 680千円
 - 823千円
- ◆日本遺産推進事業 637千円
 - 旅費 特別旅費 102千円
 - 負担金 535千円
- 北前船日本遺産推進協議会負担金 500千円
- 大会参加負担金 35千円
- (北前船寄港地フォーラム：鳥取市3名・岡山市2名)

【事業の成果と改善点等】
 県指定の藤鷲塚のフジの強剪定を行い、文化財の維持・継承に努めた。今後も文化財保存管理計画を計画的に行う。市内の指定・登録文化財を分かりやすく解説した冊子「坂井市の文化財」の改訂3版を発行し、周知を図った。
 また、日本遺産（北前船）追加認定に関する手続きを進めるために、認定に関する会議や北前船日本遺産推進協議会への入会・出席を行った。

【事業の実績等】

文化財補助件数	平成29年度	平成28年度
無形文化財活動補助件数	8件	8件
指定文化財保存事業補助件数	5件	3件
文化財管理奨励金件数	39件	37件

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大 事 業	051 文化財保存事業		決 算 書 P. 213 所管 教育局 部局 教育委員会事務局 文化課
中 事 業	11 埋蔵文化財発掘調査事業		
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額
	7,990 千円	7,366 千円	624 千円
前年度	4,408 千円	3,973 千円	435 千円
主な 国庫支出金	埋蔵文化財調査費補助金		1,200 千円
特定 財源			千円
予 算 流 用 (増減) 額		62 千円	予 備 費 充 用 額 0 千円

【事業の目的】
 丸岡城跡の遺構確認の調査を行い保存活用を図る。また開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。

【事業の概要】

- 賃金 丸岡城発掘調査作業員賃金（延べ28名） 1,105千円
- 需用費 143千円
- 消耗品費（整理作業用具） 139千円
- 印刷製本費（写真現像焼付代） 4千円
- 委託料 試掘調査掘削委託料 13件 1,046千円
- 使用料及び賃借料 発掘調査機材借上料 115千円
- 工事請負費 六呂瀬山古墳群アクセス園路整備工事 4,957千円

【事業の実績等】

埋蔵文化財発掘調査等実施状況

指標名	平成29年度	平成28年度	備考
発掘届受付件数	52件	84件	
試掘調査実施件数	14件	17件	
調査面積	283㎡	654㎡	
内容確認遺跡数	20件	64件	試掘件数+工事立会い件数
発掘調査	1件	2件	丸岡城

予算	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						
中事業	21	丸岡城関連施設管理運営事業						
予算額	当初	決算額		不用額				
前年度	10,221千円	9,984千円	237千円					
主な特定財源	10,077千円	10,057千円	20千円					
予算流用(増減)額		雑入(指定管理者修繕負担金)	200千円					
予算流用(増減)額		0千円	予備費充用額	0千円				

【事業の目的】
丸岡城関連施設を指定管理者に委託し、丸岡城関連施設の円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城観光の充実と、地域の文化振興を図る。

- 【事業の概要】
- 役員費 91千円
 - 丸岡城関連施設火災保険料 63千円
 - 丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料 28千円
 - 委託料 8,518千円
 - 丸岡城関連施設指定管理委託料(公財)丸岡文化財団 7,222千円
 - 丸岡城周辺樹木剪定・伐採業務委託料 1,296千円
 - 使用料及び賃借料 1,375千円
 - 丸岡城周辺土地借上料

【事業の成果と改善点】
丸岡城関連施設の指定管理者である「一般財団法人坂井市公共施設等管理公社」と、「公益財団法人丸岡文化財団」が合併し、「公益財団法人丸岡文化財団」となった。丸岡城周辺の一体的な管理運営が可能となり、観光面・文化面での賑わい創出を図る。

【事業の実績等】

指標名	平成29年度	平成28年度
丸岡城入場者	127,624人	154,877人

予算	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						
中事業	16	丸岡城国宝化推進事業						
予算額	当初	決算額		不用額				
前年度	16,103千円	11,618千円	4,485千円					
主な特定財源	15,162千円	14,283千円	879千円					
予算流用(増減)額		丸岡城天守学術調査事業補助金	3,474千円					
予算流用(増減)額		91千円	予備費充用額	0千円				

【事業の目的】
丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにするための調査研究を行う。また、収集した資料等を市民に公開し、市民の丸岡城に対する認識を高めていく。

- 【事業の概要】
- 賞金 臨時職員賞金(1名) 2,145千円
 - 報償費 2,154千円
 - 講師、協力者謝礼 12千円
 - 委員謝礼 691千円
 - 所見作成、調査協力謝礼 1,451千円
 - 旅費(特別旅費) 275千円
 - 需用費 824千円
 - 消耗品費(事務用消耗品) 130千円
 - 燃料費(灯油、LPガス) 119千円
 - 食糧費 5千円
 - 印刷製本費(リーフレット) 117千円
 - 光熱水費(電気料、上下水道料) 408千円
 - 修繕料(施設等修繕料) 45千円
 - 役員費 109千円
 - 委託料 4,765千円
 - コピー機保守点検委託料 190千円
 - 丸岡城天守調査委託料(福井工大) 2,750千円
 - 丸岡城天守台及び石瓦瓦葺調査研究業務委託料 810千円
 - 丸岡城天守鬼瓦3次元データ作業業務委託料 540千円
 - 丸岡城古材付書物分析業務委託料 475千円
 - 使用料及び賃借料 319千円
 - 有料道路使用料、会場使用料 28千円
 - コピー機リース料 188千円
 - 機材借上料(画像編集用パソコン) 103千円
 - 備品購入費 27千円
 - 負担金、補助及び交付金(丸岡城を国宝にする市民の会補助金) 1,000千円

【次頁へ】...

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大事業	051 文化財保存事業		決 算 書 P. 215
中事業	16 丸岡城国宝化推進事業		所管 教育委員会事務局 部局 丸岡城国宝化推進室

…【前頁より】

【事業の成果と改善点等】
丸岡城調査研究委員会を設置し3回開催した。また、構造部会を東京で1回開催した。丸岡城天守は昭和23年の福井震災による倒壊後、再建されているにも関わらず、柱や梁などは、古い部材が使用されているということが判明した。今後、建築部材の詳細な調査や、古地図、古文書等の調査を行い、丸岡城の学術的価値を明らかにしていく。

予 算 款	13 諸支出金	項 02 基金費	目 09 丸岡城周辺整備基金費
大事業	001 丸岡城周辺整備基金		決 算 書 P. 227
中事業	01 丸岡城周辺整備基金		所管 教育委員会事務局 部局 文化課
予算額	当初 補2号	決 算 額	不 用 額
前年度	6,060 千円	6,040 千円	20 千円
主な特定財源	8,143 千円	8,058 千円	85 千円
	城周辺整備基金利子		40 千円
予算追加(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。

【事業の概要】

丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。

○積立金
城周辺整備基金積立金 6,040千円
城周辺整備基金積立金(預金利息) 6,000千円
40千円

平成28年度末 現在高 ①	平成29年度中 取崩額 ②	平成29年度中 増減額 ③	平成29年度末 現在高①-②+③
198,182千円	13,684千円	6,040千円	190,538千円

【事業の成果と改善点】
丸岡城入城料金に余剰が生じたため6,000千円を基金に積み立て、及び利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	12 図書館費
大 事 業	001 図書館管理運営事業				決 算 書 P. 215 教育委員会事務局
中 事 業	01 図書館管理運営事業				所 管 部 局 図書館
予 算 額	当初 補2号	決 算 額	不 用 額		
	108,812 千円	107,559 千円	1,253 千円		
前年度	99,376 千円	97,457 千円	1,919 千円		
主な 特定 財源	ふるさと納金 図書館 収入 収入 収入		63 千円 215 千円 111 千円		
予 算 流 用 (増減) 額		0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円	

【事業の目的】
地域の情報拠点施設として4つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。

【事業の概要】

- 報酬 (図書館協議会委員) 90 千円
- 賞金 (臨時職員19名) 44,547 千円
- 報償費 (講師謝礼、協力者謝礼) 734 千円
- 需用費 18,433 千円

- 役務費
 - 消耗品費 8,504 千円
 - 光熱水費 7,127 千円
 - 修繕料他 2,802 千円
 - 通信運搬費 806 千円
 - 自動車保険料 176 千円
 - 手数料他 163 千円
- 委託料
 - 図書館管理システム保守 1,653 千円
 - 清掃業務委託 3,371 千円
 - 警備保障他 3,521 千円
- 使用料及び賃借料
 - 図書館管理システム使用料 3,909 千円
 - 図書システム使用料 2,581 千円
 - 通信料他 1,865 千円
- 工事請負費 (LAN配線工事費) 497 千円
- 備品購入費
 - 図書購入費 25,148 千円
 - 公用車購入費他 24,000 千円
 - 1,148 千円
- 負担金 (県図書館協会費、日本図書館協会費) 39 千円
- 公課費 (自動車重量税) 26 千円

【次頁へ】...

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	12 図書館費
大 事 業	001 図書館管理運営事業				決 算 書 P. 215 教育委員会事務局
中 事 業	01 図書館管理運営事業				所 管 部 局 図書館

…【前頁より】

【利用状況】

4館合計

項目	平成29年度	平成28年度
来館者数 (人)	443,992	492,564
貸出人数 (人)	193,344	208,169
貸出冊数 (冊)	798,142	835,966

【子どもの読書活動推進事業】

項目	平成29年度	平成28年度
子どもの読書活動推進事業講演会 (人)	209	あさのあつこ氏講演会
ブックスタート (人)	624	250
おはなし会 (人)	3,126	626
		3,349

【事業の成果と改善点等】

市民が親しみを覚える図書館をめざし、くらしや趣味などに役立つ情報や資料の収集、整備、保存に努めた。また、市内4館のネットワークや図書館間相互貸借を活用しながら、必要な情報や資料の提供を行った。さらに、多くの図書館行事を通じ、利用者の増加を図った。

子どもの読書活動推進事業においては、絵本作家の村上康成氏を迎え講演会および原画展を開催し、親子の読書活動推進に効果があった。引き続きブックスタート事業を行い、乳児の保護者やその家族から好評を得ている。またおはなし会等を通して、子どもたちへのさらなる読書活動推進の充実をめざした。

施設設備面においては、各館において必要に応じて修繕や整備を行い、快適な施設の維持管理に努めた。

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	12 図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業				決算書 P. 217
中事業	01	記念文庫等管理運営事業				所管 部局 教育委員会事務局 図書館
…【前頁より】						
【見学者数】						
中野重治記念文庫 年間 637名						
小葉田淳記念文庫 年間 407名						
今川節の部屋 年間 430名						
【事業の成果と改善点等】						
中野重治記念文庫の貴重な生原稿等の資料の保存や整理を行った。くちなし忌及び記念文庫講演会等、文庫関係にちなんだ講演会を実施し、市民に郷土の偉人を顕彰した。						
中野重治記念文庫や今川節の部屋は一般開放されており、誰もが気軽に記念文庫の見学ができるようになってきている。資料の保管について安全を図りながら、遺品や資料の閲覧、研究活動の支援に努めた。						
中野重治の妹で詩人の、中野節子の没後60年事業として「中野節子没後60年の集い」を開催し、先人の功績を広く市民に周知した。						

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	12 図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業				決算書 P. 217
中事業	01	記念文庫等管理運営事業				所管 部局 教育委員会事務局 図書館
予算額	当初		決算額		不 用 額	
前年度		1,520 千円		1,439 千円		81 千円
主 な 特 定 財 源		1,441 千円		1,303 千円		138 千円
予算 流 用 (増減)額				0 千円	予備費 充 用 額	0 千円
【事業の目的】						
中野重治記念文庫及び小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに、記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。						
【事業の概要】						
○報償費(講師謝礼) 73 千円						
○需用費 247 千円						
消費品費 224 千円						
光熱水費他 23 千円						
○役務費(トイレ汲み取り料) 3 千円						
○委託料(生家柳樹木剪定業務等委託料) 248 千円						
制作業務委託料 599 千円						
清掃委託料他 93 千円						
○使用料及び賃借料 171 千円						
仮設トイレ借上げ料 13 千円						
防犯カメラリース料 158 千円						
○負担金(中野重治の会負担金) 5 千円						
【行事の開催】						
・くちなし忌 8月19日(土)						
式典、詩の朗読他 場所 中野重治生家跡 参加者数 60名						
記念講演 演題「中野重治の青春像」						
講師 山下 英一氏(中野重治の会)						
場所 たかむく古城ホール 参加者数 147名						
・小葉田淳記念文庫講演会 11月5日(土)						
演題「解き明かす振媛の謎」						
講師 堀 大介氏(織田文化歴史館 学芸員)						
場所 たかむく古城ホール 参加者数 132名						
【次頁へ】…						

V 有識者からの意見

平成29年度

坂井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検、評価に関する意見

坂井市社会教育委員 上出嘉代子

1 教育委員会の会議開催等の状況

(1) 坂井市教育委員会委員

教育委員長以下5名 (平成30年3月に1名の交代あり)

(2) 教育委員会会議の開催状況

15回(定例12回、臨時3回)の会議において、35件の附議事項を審議され、充分機能を果たしているものと判断できる。

2 教育委員の活動状況

多くの教育関連行事に各教育委員が出席され、市全体の教育行政の指導・推進に関わっている様子がうかがえる。また、全国大会等出場激励会(34回)や、指導主事学校訪問(31回)など、学校教育現場直結の業務も執り行われている。

3 委員会、審議会等の審議状況

各委員会、協議会などが開催され、適切な運営がなされている。

4 教育委員会関係の許認可の状況

現在までの許認可数 合計123件 (昨年122件)

《事業別施策の成果報告書》

○教育委員会運営事業

15回の会議が開催され、円滑な運営がなされている。

表彰事業では、功績、功労、奨励合計53件の表彰が行われた。

○教育委員会事務局事業

教育行政における運営調整に努め、教育振興会への支援を通し、教育振興を促進している。職員のメンタルヘルス対策も重要なことと考える。

○小学校管理事業

・小学校管理事業

市内19小学校の管理事業が適正になされていると思われる。ICT環境については、今後とも益々の充実が望まれる。

・小学校施設設備事業

春江西小学校、大石小学校の大規模改造工事(I期)が計画的になされている。

○中学校管理事業

・中学校管理事業

市内5中学校の適正な維持管理がなされている。今後ともデマンド監視システムの有効な使用が望まれる。

○キンダーホール管理運営事業

耐震性が低い点が懸念される。児童、生徒の居場所の代替場所の確保はどうなるのか。

○教育相談事業

前年度より、予算、決算とも増えており、不登校対策の困難さ、重要性が感じられる。今後とも、保護者を含めた支援体制の充実が望まれる。

○学級運営支援事業

支援員の存在は教育現場に不可欠となっている。学級サポーターの研修会などを通して、スキル向上に努めている点は大いに評価できる。

○魅力ある学校づくり調査研究事業

市内24全小中学校が、集団づくり、授業づくりに取り組み、不登校対策にもつながるという目的は素晴らしい。地道な取り組みとなるので、結果を急がないことが大事だと思われる。

○小学校教育振興事業

・小学校教育振興事業

AETによる英語学習(4~6年)、道徳教育推進事業(2校)、地域と進める体験推進事業(10校)、どの分野も児童育成に大いに意味のあるもので、充実が期待される。

・小学校児童健康管理事業

児童の健康保持増進が適正に行なわれている。

・ふれあい交流事業

様々な交流事業が、適正に行われている。

・学力充実推進事業

2~5年の国語・算数の学力調査の実施を通して、結果の分析や、課題解決などが適切に行われている。

○児童就学援助事業

対象者(家庭)は増加の傾向にあるようだが、就学困難な児童の保護者対策が適切にとられている。

○小学校通学支援事業

適切に執行されていると思われる。第2子以降の負担金の無償化は、多子世帯の負担軽減に寄与している。

○中学校教育振興事業

・中学校教育振興事業

各分野において時代に合った執行がなされ評価できる。「地域と進める体験推進事業」は地域を愛する生徒を育成する点で、大きな意味があると思う。

・中学校生徒健康管理事業

適切に執行されていると思われる。

・クラブ活動推進事業

部活動、クラブ活動は人格形成上の大切な分野であると考え。適切な執行により、成果を上げ、意欲の向上が図れたのは大いに評価できる。今後は、外部指導者の配置を計画的に増やしていけるとよい。

○生徒就学援助事業

就学困難な生徒の保護者対策が適切にとられている。

○中学校通学支援事業

遠距離通学生との安全・安心のために、スクールバスが適正に運行されている。

○学校給食管理事業

自校式（丸岡）や、センター（三国・春江坂井）による給食事業が適正に執行されている。地産地消の継続的な取り組みも大いに評価できる。

・丸岡学校給食管理事業

5校2園が自校方式、3校が委託方式だが、どちらも適切な管理運営がなされていると思われる。

・学校給食施設建設事業

三国学校給食センターの平成32年4月完成に向けた取り組みがなされている。

・三国学校給食管理事業

中学校1、小学校6校に、栄養バランスのとれた給食の提供がなされている。

・春江坂井学校給食管理事業

中学校2、小学校7校、幼保園2、計11校4000人に近い給食人員をかかえているが、適切な運営管理がなされていると思われる。

○社会教育事業

社会教育委員や、社会教育指導員を通し、社会教育の振興が図られている。

・社会教育団体補助事業

各補助金等、適正に執行されている。実態に合わせた見直しも、今後は考慮していく必要がある。

○市民運動推進事業

市民運動への意識向上にむけた取り組みが、適切に行われている。

○国際交流推進事業

招聘・派遣事業共に、事前の計画的な準備がなされ、大きな成果を上げている。

○青少年健全育成事業

・子ども会育成事業

ジュニアリーダーをふくめ、青少年のリーダーとなる人材の育成に努めている点が大いに評価できる。

・成人式事業

8割近くの参加があり、実行委員会などの積極的な取り組みが功を奏していると思われる。

・わんぱく少年団事業

計13回の自然体験活動を通し、21名の参加児童は多くのものを身につけたことと思う。

・青少年育成坂井市民会議事業

的を絞りにくい分野であるが、講演会や「赤ちゃん抱っこ体験学習」などは理解しやすい取り組みである。

・放課後子ども教室推進事業

子ども達の安全な居場所や、活動場所として、大きな機能を果たしている。

・合宿通学

小学校時代に仲間と寝食を共にする経験はとても意義があると思う。進め方や地域のボランティアなども定着してきており、今後とも坂井市の目玉行事としてぜひ継続させてほしい。

○坂井・延岡ジュニア交流事業

ジュニア部門での交流が、将来的に郷土愛にもつながり、両市の絆を強めるにもつながると思われる。

○心の家庭教育支援事業

核家族時代が進む中、家庭教育への支援やアドバイスは、今後ますます必要となると思われる。

○スポーツ推進委員運営事業

市民のスポーツによる健康づくりが適切に行われている。

○国体推進事業

平成30年の国体に向けた準備が、適切に行われている。

○スポーツ振興事業

各スポーツ大会の開催や、スポーツ振興に関する補助金の交付を通して、市民がスポーツライフを楽しむ支援が適切に行われている。

○体育施設管理事業

体育施設の修繕・改修など適正な維持管理が行われている。

○国体推進事業

プレ大会の開催を通し、大会に向けた検証を行い、計画的な執行がなされている。

○文化振興事業

全国大会以上の出場者（50人）への激励金支給など、適正に執行されている。

・一筆啓上手紙の館管理運営事業

丸岡城との共通入場券の導入により、入館者数が倍増したことは喜ばしい。今後とも外来者だけでなく、市民のリピーターの確保について工夫していく必要がある。

・みくに龍翔館管理運営事業

施設の老朽化への対応が望まれる。

○文化財保存事業

文化財保存管理は計画的になされており、埋蔵文化財発掘調査においても適切な保護と啓発活動が行われている。

・丸岡城関連施設管理運営事業

「丸岡文化財団」による観光面・文化面での魅力の発信が今後大いに期待される。

・丸岡城国宝化推進事業

市民の期待も少しずつ高まりつつある。今後とも関係機関や専門家との連携を図り、必要な調査研究を進め、所期の目的を追求してほしい。資料・情報の公開なども積極的に行ってほしい。

○図書館管理運営事業

4館とも、子どもも大人も親しめる情報拠点として大きく機能している。利用者の立場に立った情報や資料の提供、魅力的な図書館行事の開催など大いに評価できる。

○記念文庫等管理運営事業

中野重治、小葉田淳両記念文庫は、貴重な蔵書・遺品の宝庫である。今後とも、適切な維持管理を行い、広く社会にも情報を発信してほしい。

以上

坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書に関する確認結果等について

坂井市PTA連合会
会長 小垣内 勉

◆総 評

平成29年度の坂井市教育委員会の活動、および事業別施策に関して、各活動・事業とも坂井市民の教育向上、生活向上に繋がっていると高く評価いたします。

なお、確認・審査結果等は以下のとおりです。

1. 平成29年度 坂井市教育委員会の活動状況

- 教育委員は適切な人員・人数で構成されていると評価します。
- 委員会会議の開催状況は、定例及び臨時委員会を年間15回、35件の附議事項を審議し、坂井市教育行政の運用の為に必要な内容であり、適切な委員会開催状況であると評価します。
- 教育委員の活動状況は多くの教育関係行事（各種式典・会議・イベント）に各委員が出席され、その活動内容についても、高く評価します。特に教育長におかれては、行事のほとんど全てに出席されているほか、教育行事以外の地域行事や会合等にも積極的に参加されていることに敬意を表します。なお、働き方改革が提唱されている今日、業務の分散化や効率化なども検討し、健康にご留意ください。
- 指導主事学校訪問においては、市内のすべての小中学校を1～2回程度訪問し、各学校の様子を察知し、適切な指導を行ったことについて高く評価します。
- 委員会、審議会の審議状況については、多様な内容について協議を行っているとは高く評価します。特にスポーツ推進、文化振興、文化財保護関連に、多様な会議・視察を行っており、市民の健康増進、生涯学習の振興に寄与していると思料します。
加えて、今般開催された福井国体に関する多くの項目について協議され、万全な準備のもと、無事大会が成功裏に終了したことについて、高く評価するとともに、一市民として大変喜ばしく思います。
- 教育委員会関係の許認可の状況については、文化財の指定状況を確認しました。今後各文化財の維持管理の適正化や丸岡城の国宝化に向けて、さらなる市内文化財の充実に期待します。

2. 平成29年度 事業別施策の成果報告について

【教育総務課関係】

- 教職員メンタルヘルスの維持向上を目的としたストレスチェックなどを行い、教育振興に努めている点を高く評価します。
- 小中学校の維持管理について、災害に備えた校舎大規模改造工事を実施するなど、子供たちの安全安心を確保し、さらに省エネを意識した管理をされていることを評価し

ます。引き続き、様々な教育環境の向上・改善を期待します。

【学校教育課関係】

- 児童・生徒の不登校や心の悩み、様々な理由による学習・生活支援のためのスクールソーシャルワーカーや学級サポーターの拡充・魅力ある学校づくりに向けた取り組みなど、学校教育環境の充実を図っていると高く評価します。
- 内科・歯科検診、各種検査の実施などの健康維持管理・推進、および診断結果に基づいた養護教諭による健康課題に関する指導に取り組んでいる点を高く評価します。引き続き、健康管理の取り組みをお願いいたします。
- 英語力向上のためのAETの配置、道徳教育推進事業、地域と進める体験事業等を経験します。特に地域と連携し、地域の特色ある体験学習により郷土愛を育む事業は、是非今後も継続してください。
- 学力向上のための取り組みとして、坂井市児童の確かな学力を分析し、傾向や課題解決を目的としたワークショップの開催等により、教員の指導力向上を図っていることを評価します。
- 経済的な理由により就学が困難な子供たちの保護者に対する支援等、高く評価します。今後も、すべての子供たちが十分な教育を受けられるよう、就学支援が必要な子どもたちへのご支援をお願いいたします。
- クラブ活動推進事業においては、部活動の技術力・競技力による意欲向上につながっているものと評価します。教員の多忙化や指導者不足、施設不足による部活動のあり方に検討が必要となっております。外部指導者のあり方や活動・運営方法などのご検討及び更なる充実を希望します。
- 給食関係の事業について、安全・安心かつ地産地消を意識した食材を使用し、子どもたちがおいしく食べることが出来る給食の提供を行っていることを評価します。引き続き食育を大切にしていきたいと思っております。

【生涯学習スポーツ課関係】

- 社会教育団体補助事業に関して、地域社会力の向上や社会教育を通し、青少年の健全育成を目的とした社会教育団体への活動支援に協力していただけていると高く評価します。また、当連合会への補助につきまして、厚く御礼申し上げます。
- 国際交流事業では、ますますの国際化社会へ向けての人材育成に大きく影響している事業と高く評価します。海外への派遣だけでなく来日した生徒と交流できる機会など、多くの機会を与えられているものと評価します。引き続き継続と多くの生徒たちに交流できる機会が増えるよう希望します。

(※なお、下記3. に本件に関する意見を記載しました。)

- 子ども会育成事業のうち、ジュニアリーダーの活動について高く評価します。市内青少年のリーダーとして素晴らしい人材が育成されていることを大変嬉しく思います。今後も、より充実した活動ができるよう継続した支援と育成を期待します。

○成人式事業に関しては、80%近くの出席率で高く評価できる事業だと思います。今後の成人式も、新成人が郷土に感謝し、郷土愛を育み、郷土の発展を担う決意に繋がるような内容であることを願います。

(※なお、下記3. に本件に関する意見を記載しました。)

○青少年育成市民会議での赤ちゃん抱っこ体験学習は、実施校が増えたことに加え、本年度より市内全中学校で実施されることは、命の教育など子供たちが健全に成長していくための環境づくりとして、大変有意義なものだと思います。

○放課後子ども教室、わんぱく少年団事業、合宿通学事業など、地域や坂井市内の施設、自然とのふれあい、様々な体験を通し子どもたちの成長につながると共に、地域との交流の良さなども感じてもらえる、すばらしい事業であると評価します。合宿通学は数年に一度しか体験できない事業であり、より多くの児童が体験できるよう願います。

○坂井・延岡交流事業について、子供たちの交流を通じて、将来的な両市の絆を強められるほか、郷土の良さを再認識できること、学校の垣根を超えた新たな交友の場として、とても意義のある事業なので、今後とも是非継続してほしいと思います。

(※なお、下記3. に本件に関する意見を記載しました。)

○心の家庭教育事業に関して、支援チームとの信頼関係が充実し、訪問を心待ちにしているとの報告を受け評価できる事業であると思います。家庭ということなので、保護者へのアドバイスや交流がさらに増えると良いと思います。

○スポーツ推進委員運営事業、スポーツ大会運営事業においては、市民の健康増進とスポーツ振興に大きく貢献していると評価します。

○今年開催された国体事業に関して、市民が一体となって大会を盛り上げ、成功裏に終了したこと、大変喜ばしく思います。特に子供たちは、一流の技と力を間近で見ると、貴重な体験が出来たのではないかと思います。今後は、市民の健康増進、スポーツ推進を継続させるとともに、国体のため充実させた施設を有効に活用していただきたいと思います。

【文化課関係】

○文化振興・文化活動事業に関しては、様々な文化活動支援の充実に取り組まれていると評価します。一筆啓上などは全国的にも有名になり、坂井市のPRにもつながっております。県外から多くの人を訪れる施設や文化活動を継続して活動・継承・保存していけるような支援を引き続き願います。

○丸岡城に関する事業について、国宝化に向けた市民の会が立ち上がるなど、機運が盛り上がっています。国宝化だけが目標ではなく、国宝化や周辺整備等を通じて、地域の活性化、郷土愛の醸成が図られ、坂井市の益々の発展に繋がるような事業になることを期待します。

【図書館関係】

○図書館管理事業に関しては、インターネットの普及による活字離れが進行しているようです。29年度利用状況は減少しているようですので、開館時間や読みやすい図書の充実などにより、より多くの市民に活用できるよう運営方法の検討をお願いします。

3. 確認・審査結果に伴う意見等

(1) 英国招へいに係るホストファミリーへの補助について

ホストファミリーとしてホームステイを受け入れることは、当然ボランティアであり、報酬等が発生するものではないということは理解していますが、受け入れによる準備や休日の行動、食事等に関して、程度の差はあれ、ホストファミリーに負担が生じているのは事実です。背景には、受け入れた子が、少しでも快適に過ごしてもらおう、一つでも多くの楽しい思い出を作ってもらおうという気持ちがあることと、特に、自分の子供が英国に訪問した場合は、親心として、自分の子供が英国で受けた恩を返したいとの気持ちも強いと思います。

そのため、少しでも負担を減らすため、ホストファミリーに対する一定の補助を検討しては如何でしょうか。

(2) 成人式の中継について

坂井市の成人式では、実行委員会によるLINE公式アカウントにより、成人式の様子をライブ配信するみたいです。しかし、孫の成長を楽しみにしている祖父母等は、LINEを利用されている方が少ないと思われるため、ケーブルテレビによる生中継を検討しては如何でしょうか。

(3) 坂井・延岡ジュニア交流事業の開催時期について

今年度の交流事業に随行者として参加しましたが、猛暑のため、残念ながら熱中症になる子供が相次ぎ、交流内容も大幅な変更を余儀なくされる等、両市の担当の方は大変な思いをされたと思います。

そのため、事業の開催時期を、例えば例年10月に開催される「丸岡古城まつり」に合わせて開催する等、再考されては如何でしょうか。(当然、子供たちの学校が優先されますが、「危険な猛暑」が続く昨今の夏の時期の開催は、子供たちにとっても負担が大きいです。)

以上